

## 会 議 録

会議の名称		令和5年度第1回つくば市社会教育委員会議		
開催日時		令和5年(2023年)8月4日(金)開会10:00 閉会11:45		
開催場所		つくば市役所2階 会議室201		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	鈴木もえみ委員(議長)、坪文雄委員(副議長)、飯岡宏之委員、石黒澄子委員、石塚一夫委員、稲葉房子委員、上田孝典委員、金井恵美委員、高田正澄委員、谷村安子委員、長橋進也委員、中山正巳委員、布浦万代委員		
	教育局	森田教育長、吉沼教育局長、久保田次長		
	中央図書館	柴原館長、沼尻副館長、玉木館長補佐、川田係長		
	文化芸術課	矢口課長補佐		
	地域支援課	大口課長、矢口係長		
	スポーツ振興課	大久保課長、竹前係長		
	事務局 生涯学習推進課	澤頭課長、色川課長補佐、渡辺係長、川津係長、渡邊社会教育主事、村上社会教育主事、石澤主任主査、山岸主事		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 令和4年度社会教育事業実績報告について (2) 社会教育事業の視察について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議	1	開会		
	2	挨拶		
	3	議事等選出		

次	4 議事
第	(1) 令和4年度社会教育事業実績報告について
	(2) 社会教育事業の視察について
	5 その他
	令和5年度第1回社会教育委員研修会(令和5年7月18日開催)報告
	6 閉会

<審議内容>

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 議長等選出

○事務局

つくば市社会教育委員会議運営規則第7条の規定により、会議は在籍委員の過半数が出席しなければこれを開くことができないと定められております。本日の出席委員は13名ですので会議を開会いたします。議長選出の前に委員の退任について御報告いたします。この4月に井坂孝委員、6月に議長の伊藤達也委員が退任されたことを御報告いたします。退任に伴いまして後任に深澤美紀代委員、石塚一夫委員が就任されたことを御報告いたします。本日、深澤委員は欠席です。石塚委員どうぞよろしく願いいたします。恐れ入りますが石塚様から自己紹介をお願いします。

《石塚委員自己紹介》

ありがとうございました。続きまして、伊藤議長の退任に伴いまして、当会議の議長を選出します。選出につきましては、つくば市社会教育委員会議運営規則第2条の規定により、委員の会議には委員の互選による議長及び副議長を置くでございますので委員の皆様の中から御選出いただきます。では議長の選出につきまして、皆様にお諮りしたいと思いますが、いかがいたし

ましようか。

《事務局に一任します》

はい、ありがとうございます。では事務局一任との御発声をいただきましたが、皆様いかがでしょうか。

《拍手で賛成》

それでは、事務局案を申し上げます。事務局といたしましては、議長を鈴木もえみ委員にお願いしたいと考えておりますがいかがでしょうか。

《拍手で賛成》

では皆様から拍手をいただきましたので、ただいま議長に鈴木もえみ委員が選出されました。どうぞよろしくお願いいいたします。それでは次に副議長の選出につきまして、皆様にお諮りしたいと思っておりますがいかがいたしましうか。

《事務局一任》

ありがとうございます。それでは事務局一任ということで御発声をいただきましたが、皆様いかがでしょうか。

《拍手で賛成》

それでは副議長の事務局案を申し上げます。事務局といたしましては、副議長を坏文雄委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

《拍手で賛成》

それでは、ただいま副議長に坏文雄委員が選出されました。それでは鈴木委員、坏委員、それぞれ議長席、副議長席へ御移動お願いいいたします。最初に鈴木議長より御挨拶いただきたいと思ひます。

《挨拶》

次に、坏副議長より御挨拶いただきたいと思ひます。

《挨拶》

ありがとうございました。鈴木議長、坏副議長どうぞよろしくお願ひしま

す。それでは、つくば市社会教育委員会議運営規則第4条第1項の規定によりまして、議長は会議を主宰するとございますので、議事進行につきましては鈴木議長をお願いいたします。

○鈴木議長

それでは議事に移ります。まず議事(1)令和4年度社会教育事業実績報告を議題とさせていただきます。はじめに事務局から説明をしていただきます。事務局お願いいたします。

○事務局

資料第1の担当課につきまして、社会教育事業実績報告書中、組織改編により文化芸術課事業の「地域交流センター講座」と「生涯学習施設(ふれあいプラザ)管理」について地域支援課が担当しています。また、資料1につきまして、一部修正がありました。資料7、9:4、5、9、11、13ページの令和4年度「課題への取組欄」につきまして、委員からの依頼により一部修正していますので、差し替えた後の資料を委員の皆様の上に置かせていただきました。修正箇所につきましては、資料の資料1の4ページでは、参加者確保について「努めるとともに」としていましたが、参加者を「確保した」、講座については、「開催できるように努めていく」としたところを「開催できるように努めた」としました。5ページでは、改修工事について、「設計について令和4年度実施した」と追記しました。また、改修工事について「実施していく」とした部分を「実施した」と修正しました。9ページでは二十歳の方による実行委員を組織としたこと、主体的に関わることで式典を「作り上げていく」から「作り上げた」と修正しました。11ページでは、課題に対する取組について、実績欄を参照していただくよう修正しました。13ページでは、「今後もPRしていく」としたところを、PRについて「駐車場や門に利用を勧める掲示等を行った」と修正しました。修正箇所については以上となっております。

では次に、令和4年度社会教育事業実績報告については、事前に会議資料とともに、御意見御質問シートをお送りしています。中央図書館、スポーツ振興課の事業につきまして、御意見御質問シートが届いております。

稲葉委員から御質問をいただいています。中央図書館への質問です。中央図書館事業について。令和4年度から電子図書館の導入、今年度電子図書館事業の拡充とありますが、どのように進めていくのですかと御質問をいただきました。中央図書館から回答をお願いいたします。

○中央図書館柴原館長

中央図書館館長の柴原です。どうぞよろしくをお願いいたします。

稲葉委員から事前に御質問いただいている件につきましてお答え申し上げます。電子図書館サービスは、昨年10月の4日から開始いたしました。現在、幾つ種類があるかというコンテンツ数は、本日現在1,587点がインターネット等で御覧いただける状況になっています。令和5年度に向けてどのように進めていくかというところですが、まずはコンテンツを増やしていくという計画をしています。令和4年度の電子書籍の使用料の予算を748万円計上していましたが、令和5年度は1,000万円に増額しています。予算を増やしコンテンツを増やすということを計画しています。また利用状況の傾向もまだ1年経っていないのですが、掘みながらどのようなものを御用意したらいいのかということの研究してニーズに合ったものを御用意できるように整備して参ります。また資料の選定について、紙の資料はどのような方針で資料を集めていくかという資料の収集方針は決めています。ただ電子書籍は、我々も経験値が少ないので、先ほど申し上げましたように利用の傾向を把握調査しながら方針と収集の基準を検討しているところなのですが、決めたいと考えています。最後に電子書籍サービスを提供していますが、利用されないと無駄になってしまうので今後利用の拡大を図る上で、まだ具体的な時期というものは確定はしていませんが、今後学校現場で例えばGIGA

端末が、すでに児童生徒1人1台という形での配備が進められているので、活用して子供さんたちにも是非身近に使っていただけないかということも併せて、担当課も含めて調査研究していきたいと考えています。このような方針で拡充を図っていきたいと考えています。以上です。

○鈴木議長

稲葉委員ただいまの中央図書館の回答に対していかがですか。

○稲葉委員

ありがとうございました。まだ始まったばかりだということで、これから子供たちの現場に戻していただけるということでもよろしくお願ひしたいと思ひます。

○鈴木議長

ありがとうございました。それでは次の方お願ひいたします。

○事務局

次に、谷村委員から御質問をいただひています。

6ページのスポーツ振興課へつくばマラソンの質問です。去年初めてボランティアで参加したのですが、とてもランナーを大切にした対応でした。新型コロナウイルス対策も素晴らしかったです。スポーツ振興課とボランティア団体との連携はどのようにしているのですかと御質問をいただきました。スポーツ振興課から回答をお願ひいたします。

○スポーツ振興課大久保課長

スポーツ振興課課長の久保と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。谷村委員の御質問で、スポーツ振興課とマラソンのボランティアの連携ということですが、一連の流れの中で出てきますので御存知かと思ひますが御説明させていただければと思ひます。まずボランティアですが、個人ボランティアと団体ボランティアいます。団体ボランティアは市内外の企業が社員とともに一緒にボランティアをしています。個人のボランティアに関して

は、企業も含めてですが、今現在募集をしています。一般公募となっております。昨年、第42回大会に谷村委員は御協力いただいたのかなと思うのですが、そちらで手伝っていただいたボランティアの方には今回、今年は何月何日にやりますというような形で御協力くださいという通知を出しています。その他に一般公募という形で市報やその他ホームページ等で今呼びかけているところです。申し込みにつきましては今月いっぱい8月31日までとなっております。ボランティアの方と本部とのやりとりですが、各ボランティアはまず給水ボランティア、その他のランナーに注意等の呼びかけなどのボランティアの方がいらっしゃいます。全部で約500名近く、昨年で言いますと440名の方がいらっしゃいまして、係毎に代表の方を決めています。その代表の方と私どもが電話やメールで連絡を取り合って、現地でボランティアをやっていただいて連携をとっているのが現状です。今年は11月26日に開催を予定して、現在ボランティアを募集していますが、新たに市内の企業も今年手を挙げていただいています。まだ決定していませんので社名はこの場では控えさせていただきますと思いますが、今年もこのような形で実施予定です。

○鈴木議長

ありがとうございました。谷村委員ただいまの回答に関しまして何かございますか。

○谷村委員

ありがとうございます。やってみないとわからないことがたくさんあると思いますが、昨年体験して、ランナーの人に何を提供するのか企業に任せているのか、コロナ対策で何を4等分して提供したとか、それが今コロナなので全部袋に入ったものを出しているという心遣いが、細かいところであったので、そういうところまで指示をしているのかなと思いました。でも代表の方といろいろ連携をとっていることがわかりました。ありがとうございました。

○鈴木議長

ありがとうございました。事前にいただきました質問は以上2点です。それでは資料1に関しまして、他に何かございますか。特に御意見等がなければ、議事1 令和4年度社会教育事業実績報告については以上とさせていただきます。続きまして議事2に進めさせていただきます。議事2は、社会教育事業の視察について議題といたします。まずは事務局から御説明をお願いいたします。

○事務局

これまで社会教育事業報告について、御意見、助言等をいただいていたが、実際に事業を見ていただくことを提案させていただきたいと思います。お手元の資料2を御覧ください。社会教育事業の視察について説明いたします。

1 乳児家庭教育学級について。昨今の家族形成の多様化や地域社会との繋がり希薄化等、家庭を取り巻く環境が大きく変化し、様々な問題を抱えている家族も少なくありません。そこで、幼少期から家庭教育学級を支援していくために、初めて子育てする保護者を対象に、月齢2か月から10か月までの乳児と保護者が15組程度参加する乳児家庭教育学級を春と秋、冬にそれぞれ全5回の講座を開催しています。開催場所は市内北部の大穂交流センター、市内中央の並木交流センター、市内南部の市民ホールやたべの3つの会場で開催しています。その中の大穂交流センターの様子を視察していただくことを提案いたします。視察事業大穂乳児家庭教育学級。開催場所大穂交流センター。開催時間、午前10時から午前11時10分。開催日令和5年9月5日(火) 内容、第1回はじめましての会。(オリエンテーション)。集合場所、市庁舎正面玄関前。集合時間、午前9時20分。報酬、費用弁償ありです。人数は希望される委員全て可能です。

2 青少年体験学習事業「スマホお助け隊」について。本事業は、生涯学習推



進課青少年教育係が、担当する青少年体験学習事業における輝け！中高生わくわく企画内の取組です。中高生の自主的な活動を支援、促進し、自己肯定感や自己有用感を育むとともに、地域貢献やコミュニケーション力、またリーダーとしての資質を深める機会となることを目的としています。「スマホお助け隊」は、つくば市内に在住、在学の中高生が、カスミのスマホ決済Scan&Goの使用方法について、サポートを受けたい地域の方に対し、レクチャーを行い、実際に買い物をする企画です。参加申込のあった中高生10名を対象に、8月8日(火)カスミ社員の方を講師に迎え、カスミ本社においてScan&Goのやり方及び教え方について講習を行います。その後、8月22日(火)にScan&Goについて学んだ中高生が、実際にBLANDE研究学園店において、参加者(Scan&Goの使用方法についてサポートを受けたい地域の方)に対して、Scan&Go使用方法のレクチャーを行い、買い物するまで体験してもらいます。

視察事業「輝け！中高生わくわく企画スマホお助け隊」開催場所カスミBLANDE研究学園店。開催時間午後2時から午後3時30分。開催日、令和5年8月23日(火)。内容、市内中学生・高校生による「スマホお助け隊」が、スマホ決済のやり方をサポートし実際の店舗で買い物をする。集合場所、市庁舎正面玄関前。集合時間、午後1時45分。報酬・費用弁償あり。店舗営業中のため参加人数に限りがあります。こちらは3名とさせていただきます。申し込み多数の場合は調整させていただきます。以上です。

○鈴木議長

ありがとうございました。乳幼児家庭教育学級、それから輝け中高生わくわく企画、そしてスマホで買い物をしてみようという、社会教育事業の視察についての御説明をいただきましたが、この事業について、委員の皆様から御意見御質問等ございますか。上田委員、お願いいたします。

○上田委員

S c a n & G o の中高生のわくわく企画ですが、10名というのは中高生の応募があったのが10名で、それに対してこのチラシにある10名は、その中高生のサポートを受けながら買い物をしたいという方が10名ということでしょうか。

○鈴木議長

事務局いかがですか。

○事務局

実際に体験をしたい方を10名としています。

○上田委員

買い物に来られるシニアの方が10名。

○事務局

その10名になります。

○上田委員

高校生、中高生が10名応募してもらい、使い方をカスミの社員の方から事前にレクチャーを受けて、たくさんシニアの方が来られたときに、サポートしてあげようというふうに考えているのに、実際買い物に来られる方10名だと、それはやっていて面白いのかどうかという、楽しいということがすごく大事だと思うので、そのあたりについてチラシを見ながら疑問に思ったのですがもし何かお考えがあればお願いします。

○鈴木議長

事務局いかがでしょうか。

○事務局

生涯学習推進課です。御意見ありがとうございます。こちらは中高生による企画で初めての取組です。またカスミさんの御協力もいただいて行う事業になりますので、まずは10名程度で人数は今回限定させていただいております。この企画は今回の結果を受けてさらに発展させて拡大していきたいとい

う考えもありますので、まずは手応えを感じてみたいのでこの人数とさせていただきます。

○上田委員

ありがとうございます。きっかけだと思いますので、シニアの方でスマホやアプリの使い方はすごくハードルを感じてらっしゃる方いると思います。この買い物の場面だけではなくそういう意味では中高生が得意な部分を、シニアの方のサポートをして交流ができるような事業につなげていただければ、すごく意味のある取組かなと感じました。以上です。

○鈴木議長

中高生にとってもシニアの方にとってもとても楽しみな企画ですが、第1回目ということで、まずはというようなお話でした。その他何か皆様、御意見や御感想、御提案等ありましたらお願いいたします。

○金井委員

金井と申します。実際にこの中高生わくわく企画は、各企画10名程度となっていますが、どのくらいの中高生が申し込まれた中での10名なのかというのを伺いたいのと、乳幼児家庭教育学級大穂の視察ということなのですが、こちらも15組となっているのですが、今のところどのくらいの申込みがあるのかを教えてくださいたいと思います。お願いいたします。

○事務局

生涯学習推進課です。まず中高生のスマホの方ですが、申込みされた中高生ちょうど10名になります。すべての方が抽選なく体験していただくことになっています。

○事務局

乳児家庭教育学級の申込みは8月1日から申し込みを開始させていただきました。現在大穂(学級)が5組、並木(学級)が今のところ0組、みどりの(学級)は6組です。以上です。

○金井委員

ありがとうございました。せっかくのこういう企画で、つくば市全体の中学生にどのように案内しているかわからないのですが 10 名満たされたのは良かったと思います。応募自体がつくば市全体に案内したのだとしたら、かなり少ないと思うので、今後どうやって広げていくか考えられたらと思います。ありがとうございました。

○鈴木議長

事務局いかがでしょうか。

○事務局

今後参考にさせていただきます。来年度考えさせていただきます。ありがとうございます。

○鈴木議長

他に何かございますか。資料 2 全体の御質問でも結構です。

○長橋委員

金井委員と同じようなことですが、中高生の企画の募集はどのような形でかけたのでしょうか。学校として皆さんに子供たちに企画を伝えたのか、それとも市報等で伝えたのかお伺いしたいです。よろしくお願いします。

○鈴木議長

事務局いかがですか。

○事務局

7月号の広報掲載につきまして、ホームページ、ツイッター及びつくスマで周知を図りました。またカスミの方にも御協力いただき、カスミの店舗にも掲示を依頼させていただきました。以上です。

○長橋委員

ありがとうございます。SNSを使われたというのは、結構子供たちは反応すると思うので良いと思うのですが、学校をとおして伝えていただけると、

子供たちが興味持っていただけるのかなと思うので、今後検討していただければと思います。よろしく申し上げます。

○事務局

ありがとうございます。来年度参考にさせていただきます。

○鈴木議長

貴重な御意見ありがとうございました。他にはこの資料2関係につきまして何かございませんでしょうか。資料2に関して特に御質問がないようでしたら委員の皆様方に、この視察についてお諮りをしたいと思います。この視察に関して、皆様方が参加してみたいというのも込め、いいなと思われましたら拍手をお願いいただけますでしょうか。

《拍手》

では社会教育事業の視察を行いたいと思います。では議事2 社会教育事業の視察については以上とさせていただきます。議事2 について事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

社会教育事業の視察について、御承認いただきありがとうございます。事業を御覧いただき、次回の社会教育委員会議において、御意見、御感想をいただけたらと思います。視察の参加につきましては、資料2の最後に添付してあります、社会教育事業参加希望調査票を8月9日までに、生涯学習推進課へ提出していただきますようお願いいたします。参加される方には、8月15日頃通知いたしますのでよろしくお願いいたします。

○鈴木議長

今日この場で書いて提出するという事は可能でしょうか。

○事務局

はい、可能です。

○鈴木議長

では以上で議事2は結びとさせていただきます。委員の皆様方、本日の議事を1と2進めて参りましたが、ここまでで何かございますか。他にないようでしたら本日の議事は結びとさせていただきます。続きまして5その他、令和5年度第1回社会教育委員研修会の報告の前に、私から一つお話をさせていただきます。前回の会議の中で、市役所のスタッフの方がいないところで、委員だけでお話させていただける機会があったら良いのではないかというお話をさせていただきました。これからの社会教育委員として活動するために、委員同士で情報交換する機会を設けてみたいと常々思っていました。と申しますのは、ここにいらっしゃる委員の皆様方それぞれの分野でトップクラスの方であり、また経験豊富な方であり、様々な役職をお持ちの方でいらっしゃるにもかかわらず、私自身も長く委員をしているのですが、皆様方とほとんどお話したことがなくて、本当はどんなお考えをお持ちなのか、コミュニケーションを取りたいとずっと思っていました。ですが、別の日にちをとってお食事会等もできればいいのですが、皆様方お忙しいですし、そういった時間もなかなかないと思いますので、この会議の10分でも前の時間に小さな控え室で委員だけが集まって、録音なしで本音をお話できる場があったら、より深いお話やコミュニケーションもとれますし、また委員同士で情報交換ができるとずっと思っていました。私も今回、議長というお役目をいただきましたけれども、まだ若輩者で色々わからないことがありますので、皆様からたくさん情報をいただき、御意見を録音なしで聞きたいので是非場を設けたいと考えていますので、もしよろしければ次回からお試しでもいいので、会議の前に広い部屋だと距離が遠いので、狭い一つ二つぐらいのテーブルでお話できるような場があったらと思い、御提案をさせていただきます。委員の皆様、この件に関しまして、いかがでしょうか。一人ずつ一言お願いします。

○飯岡委員

鈴木議長の提案はいいことだと思いますが、その前段で今日の流れを見させていただいて、議事で1と2があつという間に終わってしまって、その他のところで、この前上田委員さんが各種団体から来ているので、例えば、私はつくば市子供会育成連合会の会長をさせていただいているのですが、そのことについてみんなで話す場を設けていただければという話も出てくるのかなと思っていたのですが、鈴木議長の提案はいいことだと思います。

○鈴木議長

ありがとうございます。

○石黒委員

石黒でございます。一応スポーツ協会という形が出ていますが、社会教育という立場で考えると、子供食堂や子供たちに対して、現実的体験を通して生き抜く力を身につけようというすごいコンセプトで色々な事業を展開しています。子供会の場合、人数が少なくて子供会が本来やれた祭りがなしになったり、その現状をざっくばらんに話し合う場があったら色々な意見を聞くことができるのではと思いました。

○石塚委員

入ったばかりなので、特にざっくばらんな意見の交換はすごく必要だと思うし、私自身も本当に参加して話し合いたいと思っています。そして、今日の話の中でも、例えばスマホでお買い物しましょうという企画は、シルバークラブの事業としても考えている分野なので興味のあることなのですが、募集人員がこれだけだと参加不可能だと思いますし、これから発展的にやっていただいて事業も進めて欲しいと思います。皆でお話するのは大賛成です。よろしく申し上げます。

○稲葉委員

お話し合いすることはいいことだと思います。よろしくお願ひいたします。

○上田委員

上田です。議長の御提案は、僕は賛成です。こういう形で交流を深めながら色々な意見が出る会になればいいと思っています。

○金井委員

私も議長の意見に賛成で、皆さんお忙しいでしょうから会議の前後にお時間作って情報交換や共有ができたらいいと思います。今日時間が余ったら少しでもお話できたらいいと思っています。

○高田委員

それぞれの委員の方がその専門の分野で色々な社会教育をサポートするのは、賛成です。それから感じたのは、つくば市の社会教育委員会として、協働のような取組が皆さんと話し合いながら検討するという事に繋がってほしいかなと思います。是非皆さんとお話をしながら、次のステップとして協働の取組ができればと思います。以上です。

○谷村委員

前回ジオパークのお話を伺って、それぞれ委員の皆さんが本当に深いところで活躍されているということを知り、雑談でコミュニケーションが取れたら、この会議の発言の受けとめ方も違ってくると思うので、短い時間でも是非実施していただきたいと思っています。

○長橋委員

毎回ここに来ていただいて、会議の前にお隣の委員の方とお話をさせていただいたのですが、雑談が楽しみで来させていただいているようなものなので、是非御提案どおり話し合いの場を設けていただけたらうれしく思います。

○中山委員

井戸端会議賛成です。ただ、多分16人の方が全員揃ったら時間が足りないと思うので、時間はある程度区切らなくてはならないと思います。ヒートアップすると、それで終わらないこともあると思うので、会議の後、会議を



3時から又は2時半から行き、時間を切って4時位から事務局は退散していただければ時間的にもいいのかなと思います。

○布浦委員

この件につきましては、前回委員の中から出て、今日議長から取り上げていただきまして、ありがたいことだと思います。大賛成です。良い情報交換ができて、目指す社会教育委員の仕事がアップされるのではないかと感じます。私も4日前中学生15人を引率して、友好都市であります韓国の大田(テジョン)広域市の方に社会、文化、科学体験等して帰ってきたばかりです。国際感覚を磨いたり、色々な友好を深めていくこれからの若い人たちのお話もさせていただけたらと思います。よろしく願いいたします。

○坪委員

議長が変わったところでもありますので、少しやり方をいろいろ試行してみるか、変えてみるのもいいだろうと私は思っています。そもそも社会教育委員って何をするのが、基本的にファジーなままなので、委員が多くお互いがお互いを知らないのもう少し緊密になって色々な社会教育委員としてやることは何なのだろうということを素直に話し合えたらもっと良い委員会になれると思います。また役所の方のお仕事にも、バックアップができるかなと思っています。私は賛成です。

○鈴木議長

ありがとうございました。ではミニミニ井戸端会議をお諮りします。賛成でしたら拍手をお願いします。

《拍手》

ありがとうございます。ではどのような形で次回いたしましょうか。1回目ですので会議の前がいいか、後がいいかということになりますけれど、坪委員どうでしょうか。

○坪委員

午後でもいいのでしょうかこの会議は。

○事務局

午前中でも午後でも開催は大丈夫です。

○坪委員

午前中始まる前に10分位前に委員が集まることは、非常にせわしない感じもするので、午後ならこの会議を開催して終わり次第、委員だけで話し合う機会を持つ。それが30分でもいいし40分位の方がゆっくり話せるかなと思います。

○鈴木議長

時間を決めて、例えば今日は開催しませんが、今日の場合、終わりましたら少しお時間がある方は少しお話しませんかという流れで20分ぐらい録音なしで小さなお部屋等で、少し形態を変えてやらせていただくことはよろしいでしょうか。

○事務局

はい。可能です。

○谷村委員

会の持ち方なのですが、前回ジオパークの話 皆さんにさせていただいて、そうすると正式な会になってしまう気がします。あくまでも雑談でこのような活動や課題をもっている等身近なところでお話したいです。半分なり3分の1なり小さなグループでざっくばらんに発言ができる形をお願いします。

○鈴木議長

こういう形ですとやはり会議みたいになってしまうので、きっちりしたものではなく本当に井戸端的でお話もディープに話し合うよりアトランダムにお話する情報交換のようなイメージで、きっちりした報告会というイメージではないのですがいかがですか。

○谷村委員

その方がいいと思います。話の流れで、例えば布浦先生の国際的な活動の話だけで終わるかもしれない。でもまた次回に違う方の話が聞けたり、本当に自由な形を想定して欲しいです。

○鈴木議長

ジオパークの話や外国の方との友好の話などは、録音しても大丈夫なお話ですので、コンパクトに発表していただくのはいいかなと思いますが、そうじゃないお話をできたらと思いますが、上田先生、その辺りいかがでしょうか。

○上田委員

確かにこれだけの人数が集まってしまうと、話し足りない方とかも出てくると思うのでどういう形でやるのが一番いいのかあれですけども、自己紹介カードのようなものを用意しながら皆が共有できていると、こういうこともされてきたのだなということもわかるかなと思います。あとはあくまで強制ではなく自由参加という形で、途中退場も途中参加も大丈夫というような、もう少しフランクな形になるといいと思います。

○鈴木議長

そうですね。本当に井戸端会議でフランクなイメージで私はいます。

○上田委員

前か後に後に 30 分位取って。

○鈴木議長

そうですね。30分が限度かなと思います。10分でもこんにちは、お元気でしたってということさえもできずにいたのが長年気がかりだったので、せっかく素晴らしいメンバーなので、交流もできたらと思います。

○坪委員

まず一度集まってみないことには、形についてどうするかというのは難しいと思います。忘れてならないのは、社会教育委員は何をするのかというこ

とを踏み外さないことです。社会教育委員は何をするのか研修を受ける機会が必要だと思っています。

○鈴木議長

では次回事務局とも相談して終わってから時間が少し取れるような形で、御連絡できればと考えています。強制参加ではなく、お名前等をしっかり覚えてこんな方なのだということを知りたいというところからのお話ですので、御協力をいただけたらありがたく思います。よろしく願いいたします。

○飯岡委員

一つ気になる点があります。次回開催というのはこの開催の時でしょうか。なぜかという、任期は令和6年7月31日なので会議は来年の1回しかないと思います。7月31日で終わると今日8月ですからこの会議を利用すると1回しか集まらないという問題点が生じるのですが。

○鈴木議長

どうします？そうなのですね。

○飯岡委員

そうでなければ、ありがたいのですが。そうすると上田先生や他のメンバーも変わる可能性があると思うのですが、どうなのでしょう。

○鈴木議長

任期の関係でメンバーが変わる可能性もあるのですね。

○事務局

では退任の前にもう一度来年度開催という形にさせていただければ2回ですがいかがですか。

○飯岡委員

来年度このメンバーで行うのはあと1回しかないと思うのですが。

○事務局

来年任期の前に3月ともう一度調整させていただくという形でいかがでし

ようか。

○飯岡委員

それから、会議で話した結果を最終的には行政に生かしていかななくてはいけないと思っていのでそのような方向で持って行っていただければと思います。

○鈴木議長

行政の方には報告はいたしませんけれども、何かの形でお役に立てるような中身のある井戸端会議座談会ができればいいと思っています。御意見ありがとうございました。それではこの話題に関しましてはここまでで結びとさせていただきます。続きまして令和5年度第1回社会教育委員研修会報告について事務局からお願いします。

○事務局

7月18日に開催されました社会教育委員研修会について御報告いたします。7月18日に開催された社会教育研修会において、令和6年度の全国社会教育研修大会茨城大会についてお話がありましたので、御報告させていただきます。令和6年度第66回全国社会教育大会が、茨城県で開催されることになりました。開催日は、令和6年10月23日(水)から25日(金)まで、水戸市民会館、みと文化交流プラザにおいて開催されることが決定いたしました。参加費は4,000円となっておりますが、市の負担とさせていただきますので委員の皆様におかれましては、参加していただくようお願いいたします。開催が水戸ですので、公用車を用意させていただきます皆様と一緒に事務局が車で御案内いたします。次の社会教育委員研修会が10月12日常総市で開催されます。このとき令和6年度の茨城大会について詳細が述べられることとなっておりますので、社会教育委員研修会にも参加していただくようお願いいたします。以上です。

○鈴木議長

はい、ありがとうございました。研修会多くの委員の皆様方に御参加いただきたいということでございまして参加費は市負担で、公用車を用意して皆様一緒に相乗りで会場に連れて行っていただけるということでした。参加できる方は、事務局に連絡をさしあげればよろしいでしょうか。

○事務局

詳細が決まり次第御連絡します。

○鈴木議長

詳細が決まり次第御連絡をくださるということですので、スケジュールを御確認の上、なるべく多くの委員の皆様参加をよろしくお願いいたします。それでは、他に委員の皆様方から、何かございますか。無いようでしたら以上で議事を終了させていただきます。事務局の方から何かございますか。

○事務局

(全国社会教育研修大会茨城大会は)来年度の話になっております、大変申し訳ありません。

昨年社会教育指導員の活動をまとめました、令和4年度社会教育指導員事業報告書を机上に置かせていただきましたので御覧ください。以上です。

○鈴木議長

長橋委員お願いいたします。

○長橋委員

社会教育指導員の報告書をざっと見させていただいたのですが、学校で行っている家庭教育学級の感想が書いてあったのですが、ここに書いてあったものでなく、私が伺ったことがあることを2点ほどお伝えさせていただきます。1点は家庭教育学級で選んだ動画以外でも視聴したい動画があったので、希望があれば視聴できるとありがたいという意見をいただいています。

もう1点は、報告書を家庭教育学級で市に提出しているのですが、その報告書を次年度の家庭教育委員が参照できるようにしていただきたい。その報

告書が非常に次年度の実施に対し計画を立てるのにすごく役立つということなので、報告書を見られるような形にして欲しいという意見がありましたので、御検討よろしく申し上げます。

○事務局

次年度に向けて検討させていただきます。ありがとうございました。

○長橋委員

家庭教育委員は毎年人が変わってしまい、引き継ぎはそれぞれ学校ごとにやるべきことなのですが、人が変わったときに、本当に何もわからない状態で始めなければいけないので困っているという意見をいただいたので是非お願いいたします。

○事務局

ありがとうございます。

○鈴木議長

他に何かございますか。上田委員お願いいたします。

○上田委員

先ほど飯岡委員の方からもありましたように、せっかく担当課から職員の方も来ていただいていますので、もし時間があるのであれば実績報告書について、課題と対応等細かな説明は必要ありませんので少し紹介いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

○鈴木議長

事務局いかがでしょうか。

○事務局

お願いいたします。大丈夫です。では中央図書館から御説明を順番にお願いしたいのですがよろしいでしょうか。

○鈴木議長

では資料1を御覧ください。各担当課から御説明をしていただきます。中

中央図書館お願いいたします。

○中央図書館柴原館長

中央図書館館長の柴原です。事前質問の時にも少し触れさせていただきましたが、昨年度始まった新しいサービスについて幾つか御紹介させていただきます。

電子図書館サービスを10月4日から開始したのですが、実は10月4日のタイミングは、図書館コンピューターシステムの5年に1度の入れ替え時期がありまして、昨年度入れ替えをしました。現行の新しいシステムに切り替わったのが10月当初からになり、それに合わせて電子図書館サービスを開始いたしました。また、お手元の資料1ページ図書館運営に要する事業の成果にあります、コミュニティ棟での予約本の貸し出しを開始したというところなのですがコミュニティ棟というのは、この市役所の敷地北側に別棟があります。その1階の受付で、インターネット等で事前に予約をいただいた資料の本の受取りがコミュニティ棟でできるというサービスを同時期に開始しています。また今年度6月17日から開始したのですが、今年4月に開校した香取台小学校の敷地内に香取台交流館という、いわゆる児童クラブと一般開放の会議室が備えてある施設があるのですが、1階の受付でも同様に予約本の受取りができるというサービスを開始したところです。令和5年度10月1日に予定しております、研究学園小学校の図書室、家庭科室、多目的室を一般の方に開放させていただきます。ただ児童の皆さんがいる時間帯は、色々管理上も不都合がありますので、土曜日、日曜日そして一部の祝日について、図書室も含めた部屋の開放を行います。そのうち図書室部分が我々が大きく関わる場所ですが、中央図書館から約3,000冊ほど一般の方に向けての貸出ができる本を配本しました。先月の末に実際に配本をしています。来週、書架に配架する作業を予定しています。それが図書館運営に要する事業の部分です。3年間コロナウイルス感染症で色々イベントが中止や縮小、やり方



を工夫して実施したこともありましたが、今年度は、ほぼコロナウイルス感染症以前に戻った形でイベントを実施しています。特にライブラリーピクニックといいまして、自動車図書館を中央図書館の館外に配置して、外でコーヒー片手に本を読んでいただいたり、外での読み聞かせを今年度5月にやることができました。このような引き続き新しい図書館の楽しみ方も提案していきたいと考えています。

次のページはオンライン地域交流センター4か所の分館的機能を持った交流センター図書室がありますが、令和5年度は資料の充実を図るところで、図書を購入するための費用の予算を若干ではありますが、多く要求して予算をいただいています。簡単ではございますが、以上御報告とさせていただきます。

○鈴木議長

続きまして文化芸術課お願いいたします。

○文化芸術課矢口課長補佐

文化芸術課課長補佐の矢口です。よろしくお願ひします。文化芸術課では文化祭の開催事業について説明させていただきます。今年度は文化祭の開催が11月4日、5日の2日間となります。ノバホール音楽祭に関しては翌週の11日、12日の2日間開催を予定しています。会場は7会場を予定しています。会場は毎年一緒に実施しています。内容はステージの発表の部門、展示、カピオで小中学生芸術展を開催しています。こちらは家族の方が来ていますので、かなりの人数が集まっています。実際、参加団体数は令和5年度320団体予定していますが、現在、応募が318団体と大体同じ数字にはなっています。応募は今締め切っていますが、場所にもよりますが空いているところ、ステージの発表も時間的に余裕のあるところは、まだ受付はします。若干数字的には変わってくると思います。文化祭についての課題ですが、参加者に高齢者が多いので、若い世代を引き入れたいのですが、中々

入ってきていただけない状況です。文化祭については以上です。

○鈴木議長

ありがとうございました。地域支援課、お願いいたします。

○地域支援課大口課長

地域支援課大口です。資料をご覧ください。地域支援課地域交流センター事業として、令和4年度106講座実施しています。延べ人数で3,012人という実績となっています。成果としましては新型コロナウイルス感染症の影響が残る中で開催となりましたが、ワクチンの接種と規制緩和の動きが徐々に浸透してきたことにより、人数等も増加傾向と確認しています。以前にもありましたが、課題としましては人数が少なくて講座が中止となったという講座があるということだったと思うのですが、その部分についても市民のニーズをアンケート等を取り把握するとともに、少ない人数であっても開催できる重要な講座もありますので、開催できるよう進めさせていただきたいと思っております。令和5年度も同様に引き続き講座を開催して参りたいと思っております。主に生涯学習事業として交流センターが実施している地域交流センター講座を継続するとともに、地域交流センターを利用して実施している生涯学習事業、家庭教育学級、高齢者学級等についても引き続き場の提供をして参ります。関係部署と連携しながら生涯学習団体への支援、センター講座に取り組んで参ります。以上です。

○鈴木議長

ありがとうございました。続きましてスポーツ振興課お願いいたします。

○スポーツ振興課竹前係長

スポーツ振興課係長の竹前です。6ページにスポーツ振興課スポーツ大会開催事業を掲載しています。主なイベントとして4つ行ってまして、会議の中でも話に上がりましたつくばマラソン、そしてつくばマラソンよりも距離の短い健康マラソン、ウォークラリーと言ってグループで歩行するイベン

ト、そして様々な体験ができるつくばスポーツフェスティバルというイベントを実施しています。コロナウイルス感染症の影響で2年間実施できていませんでしたが、令和4年度は、3年ぶりに全てのイベントを開催することができました。昨年度コロナウイルス感染症の影響で規模を縮小していたものもありましたが、令和5年度は少し規模を広げて、つくばマラソンにおいては去年よりも1,500人定員を増やして開催しようと参加者を募集しましたが、幸いにも定員いっぱいになり今年も無事に開催できる見込みです。今準備を進めています。また7ページには、スポーツ振興事業を掲載しています。こちらはスポーツ教室やスポーツイベント、そして市民スポーツ振興の啓発等を実施しております。主に実績として書かせていただいておりますがスポーツ教室について、様々な教室を開催することができました。令和5年度も引き続き教室を開催するとともに、そのほかに障害者スポーツの推進等も行っています。そして中学校の部活動についても、検討を進める必要があると思っていますので、教育局との連携も必要かと思っています。このように取り組んでいこうと考えています。以上です。

○鈴木議長

ありがとうございました。

○地域支援課大口課長

追加でよろしいでしょうか。説明を補足しまして、生涯学習施設のふれあいプラザの管理については指定管理者制度による管理となっています。講座も指定管理者で企画して、地域交流センターと同様に講座を実施しています。また、施設のメンテナンスにつきましては、地域支援課で実施しています。以上です。

○鈴木議長

生涯学習推進課の説明をお願いいたします。

○生涯学習推進課色川課長補佐

生涯学習推進課です。8ページを御覧ください。事業名は青少年健全育成事業です。目的としては、未来のつくば市を担う青少年が健やかにたくましく成長できるように支援をしています。主に支援の内容は、事業計画の実績のとおり、青少年の相談員の活動の支援を行っています。青少年の相談員の活動は、毎月支部長会を開催して支部長と情報交換会を行っています。また、別添で補助金交付事業も支援活動を行っています。つくば市子供会育成連合会の3団体に補助金交付の支援をしています。また、青少年を育てる市民の会5団体にも補助金交付の支援活動をしています。実際4年度の課題への取組は、効果的な青少年健全育成活動を図るために令和4年度特に青少年相談員の支部長会で揉んだのですが、人権教育啓発研修を行いました。

9ページを御覧ください。つくば市二十歳の集いの事業説明です。目的としては、二十歳を迎える市内の若者が一堂に会し大人への門出を祝うことで社会の一員としての自覚の自覚と責任を促すために、二十歳の集いと名称を改めて、式典をつくばカピオアリーナで令和5年1月8日(日)に開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、密にならないように午前の部、午後の部2回に分けて実施しました。実行委員の会議の中で決めた今回のアトラクション中身は、恩師VTRを作成して新たなアトラクションとして式典当日に放映しました。式典自体は約30分間です。恩師VTRは後日式典動画では放映できなかつたのですが、年度内まで放映することができました。そしてこの二十歳の集いの課題の取組は、実行委員の委員会を組織して主体的に関わったので、社会の一員としての自覚と誇りを感じられるような式典を作り上げるという目的を達成できたと感じています。

10ページを御覧ください。青少年体験学習事業です。目的は、青少年の自己肯定感、自己有用感を育むとともに社会力を育成しようという目的を掲げています。内容は、青少年体験学習事業を行いました。参加者数は55人です。また、もう一つは青少年の居場所事業です。地域交流センター7か所で行い

ました。この指とまれ事業では、8月10日に中高生の自主企画として、ドリームフェスタを行うことができました。多くの中高生に応募いただき大変好評でした。そして子供体験事業補助金では、9団体から申請が上がり交付を行いました。課題への取組は、この指とまれの事業に加え青少年体験学習事業のロボットワークショップと名称を変更してより良い科学の体験がしたい青少年に対して周知を行うことができました。また青少年居場所事業でも、特別企画を行い居場所事業の周知に努めました。以上です。ありがとうございました。

#### ○生涯学習推進課渡辺係長

11ページの科学教育推進事業について御案内させていただきたいと思います。担当係長の渡辺です。よろしくお願ひいたします。この科学教育推進事業については3つの事業で構成されています。11ページの左側、一番左の事業計画に1、2、3と振っている3つの事業です。科学出前レクチャー事業は、つくば市の特色である研究機関の研究員の方々に御協力をいただいて、学校の授業等で自分の専門等のお話を児童生徒にさせていただくものです。また、毎年夏休み期間中に実施するつくばちびっこ博士事業、そしてつくば科学フェスティバル事業という毎年秋頃につくばカピオで研究機関や学校にブース出展していただいて、子供たちに科学の気づきを得ていただく3つの事業で構成しています。

令和5年度の計画をメインでお話させていただこうと思いますが、中段の令和4年度の実績は、御覧いただいているとおり、令和3年度に生まれた課題を踏まえて取組み、御覧いただいているような実績を上げることができました。1番目の科学出前レクチャーは、課題であった新型コロナウイルス感染症で大きく減ってしまった実施回数の増について一定の効果が出せたということ。また、ちびっこ博士につきましては、つくば市科学技術戦略課の取組である「つくばSTEAMコンパス」というホームページコンテンツと連

携し、実際に気づいたことや疑問に思ったことを聞くことができるようなコンテンツを作ることができました。科学フェスティバルにつきましては、新型コロナウイルス感染症の対策を実施した上で、2019年以來開催することができ、1万人を超える方においでいただくことができました。

このような令和4年度の実績を踏まえて、令和5年度は、つくば科学出前レクチャーをもう少し活用していただきたいので、学校との連携をしながら、回数を増やしていきたいと思っています。ちびっ子博士事業につきましては、今年もすでに始まっていますが、39の研究機関等の御協力をいただきまして動画と現地見学を実施しています。例年どおり、紙のパスポートを市内の小中学生全員に配って楽しんでいただいています。さらに今年新たなチャレンジとして、つくば市の子供たちが1人1台持っている学習者用端末を使って、デジタル形式でちびっこ博士を別途楽しんでいただける取組を開催しています。こうすることでクイズに答えて終わりになりがちだったものから更に知りたかったことが知れるきっかけづくりを行ったり、学校現場でもデジタルで結果が集まってくることで、子供たちはこんなことに興味があったんだということを授業につなげたり、実はこんなことが好きだったんだというキャリア教育にも生かしていけたりするのではないかと期待しています。最後につくば科学フェスティバル事業については、2年に1度の開催のため今年度は開催をしない年になりますが、来年度の開催に向けてより良い事業になるため検討していきたいと思っています。以上です。

○鈴木議長

委員の皆様から何かございますか。

○石塚委員

石塚でございます。実績について色々お話いただいたのですが、その中で色々な事業についてはしっかりお話いただいたのですが、取組の目標値が余りにも目標のための目標になっているのではないかと思います。目標は、

達成するための目標も目標ですが、努力目標も目標ですよ。今までの実績よりも、来年の目標が少ないのもどうかと思うし、余りにも高いのもどうかと思うので今までの目標と同じような数字を載せているような目標になっているような気がします。これからの目標の設定については、しっかりした目標を作っていた方がいいのではと思いました。以上です。

○鈴木議長

来年に反映していただければと思います。御意見ありがとうございました。

○石黒委員

市民文化祭について、子供食堂を第1と第3でやっているのですが、市が運営するものは使えないのは承知していて、豊里交流センターで子供食堂をやっています。第2と第3にまた変更したので、事前に準備をしないと提供するの結構大変です。60食作るとなると第2金曜日の夜借りたいのですが、金曜日までは使用禁止になっているそうなので、できたら例外でもいいので夜8時から10時までの間だけやっていただけるよう是非御検討をお願いしたいです。

○鈴木議長

文化芸術課担当の方いかがですか。

○文化芸術課矢口課長補佐

交流センターを夜使いたいという話については、地域支援課等と相談して検討していきたいと思います。

○石黒委員

ありがとうございます。よろしく申し上げます。

○鈴木議長

他に何かございますか。高田委員お願いします。

○高田委員

茨城県立筑波高等学校「つくばね学探求」について報告します。筑波高校

から依頼があり、高校3年生対象に北条界隈の体験的地域学の講習を行いました。3年生9人、担当の先生、校長先生、私の12人で実施しました。コースは筑波高校から出発して戻り、時間は2時間半で案内しました。資料1ページの下方に書かれている内容は、大地と自然、歴史と文化などをまとめたものです。コースに数字が入っていますが、北条の地域は高低差のある低い低地や台地がある地形だということを踏まえながら案内しました。2ページです。センス・オブ・ワンダーと書きましたが、1ページの内容を現地でガイドが説明をするというスタンスではなく、全体のストーリーとして説明しました。北条地域の大地の上に広がる自然の中に人は生活をして文化や産業を築き、歴史を育み、大地と自然と人のつながりがあることをテーマとして伝えたいという意図がありました。センス・オブ・ワンダーというのは例えば八坂神社五輪塔の前では、なぜ？こんな形の違う五つの石が積み重ねてあるの？と投げかけて、つくばワイナリーでは、このようなところでワイン用のブドウが栽培できるの？という投げかけをして、八坂神社より少し高いところにあるここは昔どうだったのだろう？と投げかけました。つくば道の入口では、なぜこの立派なつくば道を家康・家光が資本をかけて造ったのだろう？じゃあどうして家康は筑波山をあがめたのだろう？毘沙門天種子板碑では、仏様は人間のような形をして物を持ったりしているが、この板碑には仏様と持ち物はどこにある？日向廃寺跡では、宇治の平等院みたいな形をしているよね、誰がいつ頃造ったの？北条では多気太郎が北条を盛り上げたお侍さんとして有名なのですが、なぜここに多気太郎五輪塔があるの？ちょうど用水路を見下ろす小高いところに塔が建っています。それから、裏堀・用水路です。ポンプがない時代にどのように水路を造ったのか？目的は？田んぼを潤す、或いは一説には多気太郎の城を守るためにも造ったということもあります。

心がけたのはそれぞれの現地で見てもらうことが目的ではなく、なぜ？問



い掛けて生徒を刺激をして、短い時間でも生徒に考えてもらい、最終的には地域への興味や知識の幅を広げたいと生徒に思わせることを意図しました。

以上です。

○鈴木議長

ありがとうございました。委員の皆様他にございますか。それでは以上をもちまして議事を結びとさせていただきます。委員の皆様には御協力をいただきましてありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。よろしく申し上げます。

○事務局

鈴木議長議事進行いただきありがとうございました。以上をもちまして、令和5年度第1回社会教育委員会議を閉会いたします。なお、次回の令和5年度第2回社会教育委員会議は3月頃開催の予定ですのでよろしくお願いいたします。それでは委員の皆様、本日は誠にありがとうございました。

# 令和5年度第1回つくば市社会教育委員会議

## 次 第

日時 令和5年(2023年)8月4日(金)

午前10時

場所 つくば市役所 会議室201

1 開会

2 挨拶

3 議長等選出

4 議事

(1) 令和4年度社会教育事業実績報告について

(2) 社会教育事業の視察について

5 その他

令和5年度第1回社会教育委員研修会(令和5年7月18日開催)報告

6 閉会

資料1 令和4年度社会教育事業実績報告

資料2 社会教育事業の視察について

資料3 つくば市社会教育委員条例・つくば市社会教育委員会議運営規則

資料4 つくば市社会教育委員名簿

資料 1

## 令和 4 年度社会教育事業の実績報告

中央図書館  
文化芸術課  
地域支援課  
スポーツ振興課  
生涯学習推進課

令和4年度社会教育事業実績報告及び令和5年度社会教育事業計画

担当課・係	中央図書館 管理係 サービス係		目的	読書活動の推進と図書館利用の推進を図る。				
事業名	図書館運営に要する事業		概要	個人、団体への資料貸出業務のほか、学校訪問ブックトーク、団体貸出し(調べ学習の支援・学級文庫支援)ジュニア図書館員受入れ、社会科見学・職場体験学習受入れ、司書教諭及び司書教諭補助員等の研修実施といった学校図書館支援や、ファーストブック講座、ワークショップなど、各種イベントを行う。				
令和4年度				令和5年度				
予算額	49,669 千円		決算額	47,944 千円		予算額	55,719 千円	
事業計画	<p>1 各種図書館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験：8年生を対象とした事業</li> <li>・ジュニア図書館員：4、5、6年生を対象とした事業</li> <li>・学校訪問ブックトーク：小中学校、義務教育学校を訪問し、本を紹介する事業</li> <li>・インターンシップの受入：図書館勤務を志す大学生を対象とした事業</li> <li>・ファーストブック講座：子育てに絵本を活用するきっかけをつくる事業</li> <li>・図書リサイクル：不用になった図書を市内公共施設や市民に還元する事業</li> <li>・広報活動：公園通りの図書館通信「ヨモッカ」7,000部(年1回)及び「こどもヨモッカ」7,000部(年1回)の発行</li> </ul> <p>2 図書館協議会、図書館ボランティア活動</p> <p>3 図書備品：図書資料、視聴覚資料等の選定及び購入(今年度の計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問ブックトーク事業の推進</li> <li>・読書推進事業の実施</li> <li>・図書館事業の積極的なPR</li> <li>・自動車図書館運行事業の充実</li> <li>・図書返却事業の充実</li> <li>・学校図書館支援事業の推進</li> <li>・電子図書館の導入</li> <li>・これからの図書館のあり方についての検討</li> <li>・返却ポイントの増設</li> </ul>		実績	<p>開館日数 285日 開館時間 9:30~19:00 一部の祝日9:30~17:00</p> <p>1 各種図書館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験：8年生を対象とした事業：5校16人</li> <li>・ジュニア図書館員(4・5・6年生対象)：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止</li> <li>・学校訪問ブックトーク(4年生、7年生対象)：小学校25校、中学校3校</li> <li>・インターンシップの受入：3名</li> <li>・ファーストブック講座：4回 58名参加</li> <li>・図書リサイクル(不用図書を市民に提供する事業)：12,046冊配布</li> <li>・広報活動：公園通りの図書館通信「ヨモッカ」2月発行「こどもヨモッカ」10月発行(各8000部発行)</li> <li>・ぬいぐるみたちのおとまり会：12月16・17日</li> <li>・つくば市役所コミュニティ棟における予約本貸出開始(10/4)</li> <li>・電子図書館の導入(10/4)</li> </ul> <p>2 図書館協議会：2回開催(9月、3月) 図書館ボランティア活動(156名登録、9分野のボランティアに分かれた活動)</p> <p>3 図書備品 図書資料、視聴覚資料、電子書籍の選定及び購入(購入資料点数：19,765点)</p>		事業計画	<p>1 各種図書館事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 図書の貸出・返却業務</li> <li>(2) 職場体験</li> <li>(3) ジュニア図書館員</li> <li>(4) 学校訪問ブックトーク</li> <li>(5) インターンシップの受入</li> <li>(6) ファーストブック講座</li> <li>(7) 図書リサイクル</li> <li>(8) 広報活動</li> <li>(9) 図書館ボランティア活動</li> </ol> <p>2 図書館協議会の開催</p> <p>3 図書備品 図書資料、視聴覚資料等の選定及び購入</p> <p>4 電子図書館の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問ブックトーク事業の推進</li> <li>・読書推進事業の実施</li> <li>・図書館事業の積極的なPR</li> <li>・自動車図書館運行事業の充実</li> <li>・図書返却事業の充実</li> <li>・学校図書館支援事業の推進</li> <li>・電子図書館事業の拡充</li> <li>・返却ポイントの増設</li> </ul>	
取組実績・目標値	所蔵資料点数	令和3年度	実績 483,263	目標 490,000	取組目標値	所蔵資料点数	目標 490,000	
		令和4年度	実績 486,240	目標 490,000				
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業もあったが、実施方法を工夫することなどにより実施できた。そのことにより読書推進及び図書館の利用促進を図ることができた。</li> <li>・図書館が実施している各種事業などを広報することにより、図書館に対する理解を深め、利用の促進及び、読書活動の推進が図れた。</li> <li>・コミュニティ棟での予約本の貸出し及び電子図書館の開始によって、利用者の利便性を向上することができた。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染症防止対策など、事業の実施に当たっての工夫が必要となる。</li> <li>・図書館懇話会において、これからのつくば市立図書館のあり方について協議が行われ、令和2年3月に教育長あてに提言書が提出された。この提言の内容について引き続き検討し、今後の事業を進めていく上で参考としていく必要がある。</li> <li>・開館から30年以上が経過し、資料の収蔵スペースが不足している。令和4年度に導入した電子図書館なども活用しながら資料の充実を図る必要がある。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業が中止、又は縮小となった。収束が見えない中、感染症防止対策など、事業の実施に当たっての工夫が必要となる。</li> <li>・図書館懇話会において、これからのつくば市立図書館のあり方について協議が行われ、令和2年3月に教育長あてに提言書が提出された。この提言の内容について引き続き検討し、今後の事業を進めていく上で参考としていく必要がある。</li> </ul>			<p>課題と対応策</p>				
課題への取組	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった事業があったが、その中で実施方法を工夫することにより事業を実施し、読書推進及び図書館の利用促進を図った。</p> <p>図書館の増設を含め図書館に対する期待や要望が大きいことから、図書館懇話会からの提言書の内容を参考にしながら、中央図書館の施設改修計画を策定していく。</p>							



令和4年度社会教育事業実績報告及び令和5年度社会教育事業計画

担当課・係	中央図書館 管理係 サービス係		目的	市内のいずれの場所でも均質な図書館サービスが受けられるよう、地域図書館サービスの充実を図る。	
事業名	オンライン地域交流センター図書室運営に要する事業		概要	オンライン化されている谷田部・筑波・小野川・荃崎地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託し、連携しながら全域サービスを行っていく。	
令和4年度			令和5年度		
予算額	40,407 千円		決算額	40,351 千円	
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 交流センター図書室の雑誌・新聞等の購入</li> <li>4 交流センター図書室運営業務委託</li> <li>4 交流センター図書室図書備品購入</li> </ul> 中央図書館とオンライン化されている4交流センター図書室の円滑な運営と地域図書館的役割の充実を図る。		実績	開館日数 285日（小野川は258日） 開館時間 平日9:30～19:00 土・日・一部の祝日9:30～17:00  交流センター図書室の休室 ※選挙投票所（7/10、12/11）、その他理由により小野川休室  ・図書資料の購入を積極的に行い蔵書数の増に努め、委託職員と連携を密にし、地域図書館サービスの向上に努めた。	
取組実績・目標値	貸出冊（点）数	令和3年度	実績 420,619	目標 385,000	取組目標値
		令和4年度	実績 462,790	目標 410,000	貸出冊（点）数
					目標 410,000
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流センター図書室と連携をとり、図書館サービスの向上に努めた。</li> <li>新刊本の購入を増やし、不用図書の除籍を行い、利用しやすい配架に努めた。</li> <li>地域の特色を生かした図書資料の整備を図ることができた。</li> </ul>		課題と対応策		
課題	平成27年度から、オンライン4交流センター図書室運営業務委託を中央図書館が行い、新しい図書資料を増やしてきた。引き続き市民が図書館サービスを楽しめるよう4交流センター図書室の蔵書の充実を図っていく。また、地域の特色を生かした資料の整備を行うとともに、委託職員との連携を図り図書館サービスの向上を目指す。しかしながら、図書室によっては、資料の劣化が進んでいたり、利用者が急増しているなど状況が異なるため、今後の資料購入費の配分方法などが課題となる。現在の委託業務の内容について検証するとともに、図書館懇話会からの提言の内容についても検討の上、次年度以降の運営業務の委託内容に反映させる必要がある。また、予算の増額が困難な中、運営業務に必要な人材（司書有資格者）を継続して確保していくことが課題である。				
課題への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>各図書室の蔵書について、地域の特色をいかしながら、新たな図書資料の受入数を増やし、その充実を図った。</li> <li>各図書室の利用状況に応じた資料購入費の配分を行い、利用者の多い図書室の蔵書の充実を図った。その効果を検証し、今後の資料購入費の配分の方法を検討していく。</li> <li>委託職員との連携を密に図り、サービスの向上に努めた。</li> <li>各図書室の状況把握を行い、受託事業者と随時情報の共有化を図った。</li> </ul>				
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 交流センター図書室の雑誌・新聞等の購入</li> <li>4 交流センター図書室運営業務委託</li> <li>4 交流センター図書室の図書備品購入</li> <li>4 交流センター図書室の雑誌・新聞等の購入</li> </ul> 【新規事業】 研究学園小学校図書室の休日開放及びかとりだい交流館における予約本の受取・図書返却サービスを開始する。				



令和4年度社会教育事業実績報告及び令和5年度社会教育事業計画

担当課・係	文化芸術課 文化振興係		目的	文化芸術活動を行っている市民に対し、成果発表の場を提供するとともに創作意欲の向上と世代間の交流を促進する。				
事業名	つくば市民文化祭		概要	市内7つの会場で展示部門、ステージ部門等を中心とした文化祭、つくばカピオ会場で小中学校芸術展、週をずらしてノバホール音楽会を開催する。				
令和4年度				令和5年度				
予算額	12,257 千円		決算額	11,183 千円		予算額	14,595 千円	
事業計画	<p>○開催期間 11月5日(土)～6日(日) ※ノバホール音楽会は11月12日(土)～13日(日) ※荖崎会場は展示のみ前倒して開催予定</p> <p>○会場 筑波会場：筑波交流センター、市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター、吉沼交流センター、大穂体育館 豊里会場：豊里交流センター、市民ホールとよさと、豊里体育館 谷田部会場：谷田部総合体育館、市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館、流星台プレーパーク 荖崎会場：荖崎交流センター、市民ホールくきざき 中央会場：つくばカピオ、ノバホール、さくら民家園</p> <p>○開催部門 【展示部門】絵画・書道・華道・俳句・写真・陶芸・盆栽など 【ステージ部門】民謡・舞踊・器楽・コーラス・ダンスなど 【その他】囲碁・将棋など 【ノバホール音楽会】声楽・器楽</p> <p>三密を避けた開催様式を検討する。</p>		実績	<p>○開催期間 11月5日(土)～6日(日) ※ノバホール音楽会は11月12日(土)～13日(日) ※荖崎会場は展示のみ前倒して開催</p> <p>○会場 筑波会場：筑波交流センター、市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター、吉沼交流センター、大穂体育館 豊里会場：豊里交流センター、市民ホールとよさと、豊里体育館 谷田部会場：谷田部総合体育館、市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館、流星台プレーパーク 荖崎会場：荖崎交流センター、市民ホールくきざき 中央会場：つくばカピオ、ノバホール、さくら民家園</p> <p>○開催部門 【展示部門】絵画・書道・華道・俳句・写真・陶芸・盆栽など ※中央会場で小中学校芸術展を開催 【ステージ部門】民謡・舞踊・器楽・コーラス・ダンスなど 【その他】囲碁・将棋など 【ノバホール音楽会】声楽・器楽</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催した。</p>		事業計画	<p>○開催期間 11月4日(土)～5日(日) ※ノバホール音楽会は11月11日(土)～12日(日) ※荖崎会場は展示のみ前倒して開催予定</p> <p>○会場 筑波会場：筑波交流センター、市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター、吉沼交流センター、大穂体育館 豊里会場：豊里交流センター、豊里体育館(市民ホールとよさととは改修中のため使用不可) 谷田部会場：谷田部総合体育館、市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館、流星台プレーパーク 荖崎会場：荖崎交流センター、市民ホールくきざき 中央会場：つくばカピオ、ノバホール、さくら民家園</p> <p>○開催部門 【展示部門】絵画・書道・華道・俳句・写真・陶芸・盆栽など ※中央会場で小中学校芸術展を開催 【ステージ部門】民謡・舞踊・器楽・コーラス・ダンスなど 【その他】囲碁・将棋など 【ノバホール音楽会】声楽・器楽</p>	
取組実績・目標値	参加団体数	令和3年度	実績 (開催中止)	目標 (開催中止)	取組目標値	参加団体数	目標 320	
		令和4年度	実績 282	目標 300				
成果	3年ぶりの開催となり、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で多くの市民が参加し、文化芸術に触れる貴重な機会となった。						課題と対応策	
課題	参加者の半数以上が高齢者である。いかに若い世代の参加者を増加させるかが今後の課題となっている。							
課題への取組	世代を問わず、興味をもった時にいつでも文化祭の様子が見られるように、写真等の記録映像をつくばアートチャンネルから情報発信した。							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策を講じての通常実施</li> <li>・7つの会場を統一する運営方針の徹底</li> </ul>							



担当課・係	地域支援課 地域交流支援係		目的	市民に地域交流センター講座による学習機会を提供することで、豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため。			
事業名	地域交流センター講座		概要	市内17交流センターで自主企画の講座を開講し、5月(前期講座)と9月(後期講座)に受講生を募集する。			
令和4年度				令和5年度			
予算額	5,530 千円		決算額	3,434 千円		予算額	5,622 千円
事業計画	<p>市内17交流センターで自主企画の講座を開講し、5月(前期講座)と9月(後期講座)に受講生を募集する。 前期講座は、50講座程度、定員約700名で5月に募集し、開講を予定、後期講座は、50講座程度、定員約700名で9月に募集する予定。</p> <p>講座の内容は、高齢者・小学生・親子・女性・男性向けなど多岐にわたり企画し、土日、夜間の講座も開講する。 また、つくば市消費生活センターや消防署など他部署による普及促進講座も開講する。</p>		実績	<p>◇令和4年度地域交流センター講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集方法：広報つくば5月号及び9月号に掲載</li> <li>・講座企画数：108講座</li> <li>・実施講座数：106講座</li> <li>※2講座において募集定員が少ないため開催中止となった</li> <li>・延べ受講者数：3,012人</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象別内訳（開講106講座のうち）</li> <li>小中学生対象：1講座</li> <li>一般対象：93講座</li> <li>高齢者対象：5講座</li> <li>その他（託児付き、親子対象）：7講座</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間帯別内訳</li> <li>平日（9:00～17:00）：100講座</li> <li>平日夜間（17:00～22:00）：0講座</li> <li>土日祝日：6講座</li> </ul>		事業計画	<p>市内17交流センターで自主企画の講座を開講し、5月(前期講座)と9月(後期講座)に受講生を募集する。 前期講座は、50講座程度、定員約700名で5月に募集し、開講を予定。後期講座は、50講座程度、定員約700名で9月に募集する予定。</p>
取組実績・目標値	受講者数	令和3年度	実績 2,628	目標 1,100	取組目標値	受講者数	目標 1,400
		令和4年度	実績 3,012	目標 1,400			
成果	新型コロナウイルス感染症の影響が残る中での講座開催となったが、ワクチンの接種や規制緩和の動きが徐々に浸透したことにより社会活動が活発となり、受講者数を大幅に伸ばすことができた。引き続きアンケート等の実施により魅力ある講座の企画に努めていく。					課題と対応策	<p>受講者が定員に満たなく開催見送りとなった講座があった。 アンケート等により利用者の多様なニーズを把握し、講座内容の充実を図っていく必要がある。</p>
課題	受講者が定員に満たなく開催見送りとなった講座があった。 アンケート等により利用者の多様なニーズを把握し、講座内容の充実を図っていく必要がある。						
課題への取組	募集定員に満たない講座については、募集期間を延長するなど参加者を確保した。また、募集定員に満たなかった場合でも講座開催に支障がない場合は、講師と協議のうえ極力講座を開催できるよう努めた。						

担当課・係	地域支援課 地域交流支援係		目的	豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため。また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため。			
事業名	生涯学習施設（ふれあいプラザ）管理		概要	指定管理者制度によりつくば市ふれあいプラザの維持管理を行うとともに、利用者のニーズに即した自主事業の開催やイベントを実施する。			
令和4年度				令和5年度			
予算額	66,744 千円		決算額	68,005 千円		予算額	109,437 千円
事業計画	指定管理者制度によりつくば市ふれあいプラザの維持管理を行う。 また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。  生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。 ふれあいプラザ利用者数 30,000人、約240講座を開講予定		実績	通年開講講座（プール、パソコン、外国語、料理、運動、音楽、芸術、親子、文化、伝承、ほか）  ◇令和4年度ふれあいプラザ総利用者数 48,286人 うち免除者数 23,820人（免除率 49.33%）  ◇令和4年度講座実績 ・講座数 611講座 ・開講コマ数 1,938回 ・延べ参加者数 11,764人  ◇令和4年度イベント実績 イベント数 4回 ・こどもプールフェス ・和の祭典 ・音楽祭 ・合同発表会		事業計画	指定管理者制度によりつくば市ふれあいプラザの維持管理を行う。 また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。
取組実績・目標値	ふれあいプラザ利用者数	令和3年度	実績 36,940	目標 30,000	取組目標値	ふれあいプラザ利用者数	目標 35,000
		令和4年度	実績 48,286	目標 30,000			
成果	総利用者数、免除者数ともに令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、流行前の水準まで回復していないが、令和4年度は、ワクチンの接種が進んだり、規制緩和の動きがあったことから、令和3年度と比較し、大幅に利用が増加している。また、講座数及び講座の開講数は、令和4年度は流行前に近い水準まで回復してきている。引き続き、利用者のニーズに応じた講座の開催や積極的な広報活動を通じて、参加者の増加に繋げていきたい。						
課題	開館から15年以上が経過し、建物・設備とも経年劣化による修繕箇所が増えているため、計画的に改修を行っていく必要がある。						
課題への取組	故障により長期間稼働できなかったプール及びロビーの電動ロールカーテン等の改修工事の設計を令和4年度実施し、令和5年度工事予定である。 また、令和3年度に策定した長寿命化計画に基づき、施設の長寿命化を図るための改修工事を計画的に実施している。						



令和4年度社会教育事業実績報告及び令和5年度社会教育事業計画

担当課・係	スポーツ振興課		目的	スポーツに対する意識の高揚を図るとともに、つくば市のPRに努め、スポーツでつながるまちづくりに寄与する。				
事業名	スポーツ大会開催事業		概要	【つくばマラソン】42.195kmの部・10kmの部を開催 【その他の大会】健康マラソン(2、3、5km)、ウォークラリー(グループ歩行)、つくばスポーツフェスティバル等の各種スポーツ大会を開催する。				
令和4年度				令和5年度				
予算額	24,324 (内つくばマラソン負担金15,000) 千円		決算額	21,356 (内つくばマラソン負担金15,000) 千円		予算額	24,352 (内つくばマラソン負担金15,000) 千円	
事業計画	<p>(つくばマラソン) つくば市、筑波大学、茨城陸上競技協会及び読売新聞社が中心となりつくば市の魅力を市内外にPRするとともに活力ある街づくりを推進するためにマラソン大会を開催する。</p> <p>(健康マラソン) 小学生から高齢者にいたるまで、だれもが気楽に参加できるマラソン大会を開催することにより、生涯スポーツとしてのランニングの普及と健康づくりの促進を図る。研究学園駅前公園を中心会場とし、2・3・5Kmの部を開催する。</p> <p>その他、ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル等を開催する。</p> <p>(令和4年度の計画) (つくばマラソン) 新型コロナウイルス感染症への感染対策をとり、適切な規模、体制による大会を開催する。また、オンラインマラソンや練習会等、関連企画の実施も検討する。</p> <p>(健康マラソン) 新型コロナウイルス感染症への感染対策を実施するとともに、「ランナーに愛されるまちの実現」の取組の一環として、誰もが気軽に参加できる大会を開催する。</p>		実績	<p>令和4年度は予定していた大会及びイベントを全て開催することができ、スポーツの楽しみや健康の増進等の場を提供することができた。つくばマラソンにおいては47都道府県から参加者が集まり、市のPRに寄与することができた。</p>		事業計画	<p>(つくばマラソン) つくば市、筑波大学、茨城陸上競技協会及び読売新聞社が中心となりつくば市の魅力を市内外にPRするとともに活力ある街づくりを推進するためにマラソン大会を開催する。</p> <p>(健康マラソン) 小学生から高齢者にいたるまで、だれもが気楽に参加できるマラソン大会を開催することにより、生涯スポーツとしてのランニングの普及と健康づくりの促進を図る。研究学園駅前公園を中心会場とし、2・3・5Kmの部を開催する。</p> <p>その他、ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル等を開催する。</p>	
取組実績・目標値	①つくばマラソン申込者数 ②健康マラソン申込者数	令和3年度	実績 ①842人(オンライン) ②1,136人(中止)	目標 ①3,000人(オンライン) ②2,200人	取組目標値	①つくばマラソン申込者数 ②健康マラソン申込者数	目標 ①11,500人 ②2,200人	
		令和4年度	実績 ①9,863人 ②1,794人	目標 ①10,000人 ②2,200人				
成果	各大会において開会式等のセレモニーは行わず、健康管理チェックシートの記入を参加者に要請する等の感染症対策を実施した。その結果、計画していた全ての大会を開催することができた。							
課題	(つくばマラソン)新型コロナウイルス感染症への感染対策及び悪天候への対策を講じた会場の見直しやレイアウトの変更等の検討をおこなう。 (健康マラソン)新型コロナウイルス感染症への感染対策を講じた運営方法や会場レイアウトの検討をおこなう。			課題と対応策				
課題への取組	感染症の感染拡大状況下においても大会を開催できるよう、企画立案時に感染対策の検討を行った。							

令和4年度社会教育事業実績報告及び令和5年度社会教育事業計画

担当課・係	スポーツ振興課		目的	スポーツ振興に向け、市民のスポーツ環境の充実を図る。			
事業名	スポーツ振興事業		概要	スポーツ教室やスポーツイベントを開催することにより、市民スポーツ振興の啓発、市民同士が交流できる環境の提供及び市民の健康づくりを図る。			
令和4年度				令和5年度			
予算額	3,354 千円		決算額	1,316 千円		予算額	36,460 千円
事業計画	<p>市民を対象に、様々な種目のスポーツ教室を開催する。1種目は週1回×4回程度実施し、年間10種目程度開催する。</p> <p>(令和4年度の計画) 新型コロナウイルス感染症への感染対策を実施するとともに、様々な種類のスポーツ教室を広く開催し、より多くの市民がスポーツに触れる機会を提供する。</p>		実績	<p>子供向け・大人向けの教室や障害者スポーツを体験できる教室など、様々な10種類の教室を開催し、延べ620人の市民等が参加した。</p> <p>【実施した教室】                  バドミントン 全4回 延べ64人                  トレイルラン 全4回 延べ56人                  心と体をほぐすヨガ 全4回 延べ78人                  スラックライン 全4回 延べ46人                  体幹ムーブメント 全4回 延べ83人                  ランニング 全4回 延べ60人                  車いすに座ってできるスポーツ体験 全3回 延べ38人                  スプリント 全3回 延べ75人                  子供のスポーツ体験(低学年) 全4回 延べ89人                  子供のスポーツ体験(高学年) 全4回 延べ3回</p>		事業計画	<p>【スポーツ振興するため各種施策を実施する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動を始めるきっかけとなるようなスポーツの教室や大会を開催する。</li> <li>・新規のスポーツ指導者支援するため、スポーツ教室の開催支援を行う。</li> <li>・障害者スポーツの推進を図るための施策を展開する。</li> <li>・スポーツ推進委員協議会及びスポーツ推進審議会の運営を行う。</li> <li>・中学部活動が地域スポーツに移行する際の各種課題の解決に向けて、調整・検討を行う。</li> <li>等</li> <li>・ランニング教室、スポーツ体験教室、障害者スポーツに関する教室等、各種教室や、ウォークラリー大会やスポーツフェスティバル等の開催する。</li> <li>・新しくつくば市でスポーツ事業を行う個人等に対して、教室実施の支援を行う。</li> <li>・障害者スポーツを支援するためのシステム構築に関する業務委託、用具の貸し出しや先進自治体の視察等を行う。</li> <li>・推進委員に関しては市主催事業において係員として協力、助言を行う。また、資質向上のため各種研修会に参加する。審議会においては、各種スポーツ推進施策に関する審議や、スポーツ推進計画策定について諮問を受け、審議会で審議し、意見を答申する。</li> </ul>
取組実績・目標値	開催教室数	令和3年度	実績 7	目標 13	取組目標値	開催教室数	目標 7
		令和4年度	実績 10	目標 12			
成果	新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、予定通りの教室を開催し、市民にスポーツの機会を提供することができた。					課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者スポーツを推進するための方策。</li> <li>・スポーツ推進委員の更なる資質の向上、活動の促進。</li> <li>・部活動改革の進め方。</li> </ul>
課題	スポーツ教室を実施することで、事業の目的を達成できているかの検証を行う必要がある。						
課題への取組	次年度以降の事業計画に生かすため、参加者へのアンケートを実施し、ニーズや継続意向等の調査を行った。						



令和4年度社会教育事業実績報告及び令和5年度社会教育事業計画

担当課・係	生涯学習推進課・青少年教育係		目的	未来のつくば市を担う青少年が、健やかにたくましく成長できるように支援する。	
事業名	青少年健全育成事業		概要	青少年相談員が中心となり、学校や青少年育成団体等と連携し、青少年の非行防止や青少年育成の各種事業を展開する。	
令和4年度			令和5年度		
予算額	6,016 千円		決算額	4,002 千円	
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全育成に協力する店登録活動（7月～12月実施）</li> <li>・学校訪問（6月～7月実施） 市内小・中学校及び高校を訪問</li> <li>・あいさつ・声かけ運動（通年） 市内小・中学校及び高校において実施</li> <li>・青少年健全育成の啓発活動 薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加</li> <li>・補助金交付 つくば市子ども会育成連合会 青少年を育てるつくば市民の会</li> </ul> <p>あいさつ・声かけ運動実施数：120回 「青少年の健全育成に協力する店」の登録活動を積極的に推進していく。</p>		実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○青少年相談員の活動</li> <li>・あいさつ・声かけ運動（個人活動）2,878回</li> <li>※新型コロナウイルス感染症拡大により、団体での活動を行わず、個人で活動したため、実施数が大幅に増加した。 学校の状況や要望の把握</li> <li>・「青少年の健全育成に協力する店」訪問登録活動 A区分登録店舗数（198店舗）</li> <li>・広報誌「相談員だより」年1回発行</li> <li>◇新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止</li> <li>・薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加</li> <li>○補助金交付事業 つくば市子ども会育成連合会：3団体（桜地区、大穂地区、豊里地区） 青少年を育てるつくば市民の会：5団体（本部、大穂、豊里、谷田部、荃崎）</li> </ul>	
取組実績・目標値	あいさつ・声かけ運動実施数	令和3年度	実績 1,368回	目標 120回	
		令和4年度	実績 2,878回	目標 120回	
取組目標値	あいさつ・声かけ運動実施数			目標 120回	
成果	あいさつ・声かけ運動、普及啓発活動及び社会環境健全化活動を実施した。各月1回程度、支部長会議を実施し、各支部と情報共有及び連携を図ることができた。「青少年の健全育成に協力する店」の登録活動など青少年育成の活動を推進することができた。				
課題	青少年への声かけや社会環境浄化活動をはじめとする諸活動をさらに効果的に行うために、研修を実施する。		課題と対応策		
課題への取組	効果的な青少年健全育成活動を図るため、令和4年度10月支部長会において、人権教育啓発研修を実施した。				
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全育成に協力する店登録活動（7月～12月実施）</li> <li>・学校訪問（6月～7月実施） 市内小・中学校及び高校を訪問</li> <li>・あいさつ・声かけ運動（通年） 市内小・中学校及び高校において実施</li> <li>・青少年健全育成の啓発活動 薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加</li> <li>・補助金交付 つくば市子ども会育成連合会 青少年を育てるつくば市民の会</li> </ul>		実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全育成に協力する店登録活動（7月～12月実施）</li> <li>・学校訪問（6月～7月実施） 市内小・中学校及び高校を訪問</li> <li>・あいさつ・声かけ運動（通年） 市内小・中学校及び高校において実施</li> <li>・青少年健全育成の啓発活動 薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加</li> <li>・補助金交付 つくば市子ども会育成連合会 青少年を育てるつくば市民の会</li> </ul>	

担当課・係	生涯学習推進課・青少年教育係		目的	新たに二十歳を迎える市内の若者が一堂に会し、大人への門出を祝うことで、社会の一員としての自覚と責任を促す。			
事業名	つくば市二十歳の集い事業		概要	二十歳になる方による実行委員会を立ち上げ、自らが二十歳の集いを企画し、当日の運営に参画する。市は、広報紙、ホームページへの掲載、対象者への案内通知などの広報活動を支援する。			
令和4年度				令和5年度			
予算額	6,413 千円		決算額	5,735 千円		予算額	7,010 千円
事業計画	<p>市内中学校からの推薦による実行委員会を組織し、企画・運営など主体的に取り組む。</p> <p>○主催 つくば市・つくば市二十歳の集い実行委員会</p> <p>○期日 令和5年(2023年)1月8日(日)</p> <p>○会場 つくばカピオアリーナ</p> <p>○該当者 平成14年(2002年)4月2日～平成15年(2003年)4月1日生まれの方 対象者数 2,711人(令和3年10月1日現在)</p> <p>・式典を円滑に進行すること。</p>		実績	<p>新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、密にならないよう席を空け、式典を2回に分け開催。</p> <p>○期日 令和5年(2023年)1月8日(日)</p> <p>○会場 つくばカピオアリーナ</p> <p>○参加者 1,828人</p> <p>○式典 午前の部 午前11時00分から午前11時30分まで 午後の部 午後2時30分から午後3時00分まで ※2回に分けて、式典を開催</p> <p>○アトラクション 実行委員会が自作した「恩師VTR」後日、来場できなかった新成人のために、式典動画を年度末まで配信した。</p>		事業計画	<p>市内中学校からの推薦による実行委員会を組織し、企画・運営など主体的に取り組む。</p> <p>○主催 つくば市・つくば市二十歳の集い実行委員会</p> <p>○期日 令和6年(2024年)1月7日(日)</p> <p>○会場 つくばカピオアリーナ</p> <p>○該当者 平成15年(2003年)4月2日～平成16年(2004年)4月1日生まれの方 対象者数 2,630人(令和4年10月1日現在) ※【参考】年齢別人口統計R04.10.01</p>
取組実績・目標値	参加者数	令和3年度	実績 1,621人	目標 1,500人	取組目標値	参加者数	目標 1,900人
		令和4年度	実績 1,828人	目標 1,500人			
成果	社会の一員としての自覚を促す機会として、式典を開催することができた。つくば警察署の協力を得て「式典会場内外の警備体制」や違法車両対策、参加者の安全確保を図ることができ、円滑な式典運営に寄与した。初めての試みであるアトラクションの「恩師VTR」は好評だった。						
課題	二十歳の集いへ多くの方が参加するよう、時代に即した魅力ある式典にする努力が必要である。						
課題への取組	二十歳の方による実行委員会を組織し、主体的に関わっていただくことによって、社会の一員としての自覚と誇りを感じられるような式典を作り上げた。						
	<p>二十歳になる方の門出の式典を円滑に開催できるよう、市職員、警察並びに警備業者が連携して、式典業務に従事する。また、実行委員が主体的に式典準備に関わるよう促し、社会人としての責任を自覚する機会となるような式典を作り上げる。</p>						



令和4年度社会教育事業実績報告及び令和5年度社会教育事業計画

担当課・係	生涯学習推進課・青少年教育係		目的	自主的な活動や体験により、青少年の自己肯定感や自己有用感を育むとともに、社会力を育成する。	
事業名	青少年体験学習事業		概要	<p>市内在住の中高生を対象に、企画募集して、青少年を中心とした地域交流・多世代間交流の体験学習の実施を行う。また、自主活動の支援を図り、青少年の健全育成に資する団体と連携した活動に取り組んだ事業を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の企画を募集し実現する「この指と一まれ！」事業</li> <li>・つくばの科学と自然を体感する「夏休み体験学習事業」</li> </ul>	
令和4年度			令和5年度		
予算額	1,213 千円		決算額	393 千円	
事業計画	<p>○青少年体験学習事業 つくば市の地域資源を活用した実験教室等を体感し、科学や自然への興味や関心を高めることを目的として開催する。</p> <p>○この指と一まれ！事業 中学生・高校生自身がやりたいこと、興味があること、実現したいことを企画募集し、企画実現に向けて活動することで、自己肯定感を育み、社会力の育成につなげる。</p> <p>○青少年の居場所事業 青少年の学校外での活動拠点として地域交流センター7館を週1回開放。また、毎月1回社会教育指導員が青少年の活動の相談対応・支援を行う。さらに居場所事業の周知のために特別開催日を設定した。</p> <p>○つくば市子ども体験事業補助金 つくば市内の青少年健全育成諸団体が、子どもたちを対象に行った体験活動を内容とする事業・活動に対し、予算の範囲内において補助金を交付します。</p> <p>青少年の健全育成に資する団体と連携した活動に取り組んだ事業を推進し、多くの参加者を受け入れられるよう定員の拡充等の対策をする。</p>		実績	<p>○青少年体験学習事業 「課題解決ロボットワークショップ」(期日：8月5日(金))参加者数55人</p> <p>○青少年の居場所事業 青少年の居場所利用者数 808人</p> <p>○この指と一まれ！事業 8月10日(水)にキックオフ・説明会を行い、10月30日(日)ドリムフェスタを開催(和太鼓、けん玉・ピアノ、経済、グリーントランプ、SDGs(生理の貧困)、手話歌講座・発表、水球、チアダンス講座・発表、ボッチャ、スマホお助け隊)</p> <p>○つくば市子ども体験事業補助金 交付団体数9団体</p>	
取組実績・目標値	青少年体験学習事業参加者数	令和3年度	実績 (開催中止)	目標 24人	取組目標値
		令和4年度	実績 55人	目標 24人	
成果	「この指と一まれ！」事業では、青少年が自ら企画を考え実現できたことで、企画計画力、コミュニケーション力、チームワークが培われ、社会力の育成に繋げることができた。				課題と対応策
課題	青少年が自主的な活動や体験ができるよう、昨年度の実績を踏まえ事業の展開を図る。				
課題への取組	「この指と一まれ！」事業に加え、「青少年体験学習事業」では「課題解決ロボットワークショップ」と名称変更し、よりロボットや科学の体験がしたい青少年に対して、周知を図った。また「青少年の居場所事業」では特別企画を引き続き実施し、居場所事業の周知に努めた。				
事業計画	<p>○青少年体験学習事業 つくば市の地域資源を活用した実験教室等を体感し、科学や自然への興味や関心を高めることを目的として開催する。</p> <p>○この指と一まれ！事業 中学生・高校生自身がやりたいこと、興味があること、実現したいことを企画募集し、企画実現に向けて活動することで、自己肯定感を育み、社会力の育成につなげる。</p> <p>○青少年の居場所事業 青少年の学校外での活動拠点として地域交流センター7館を週1回開放。学習や友人とのおしゃべり場等として活用</p> <p>○つくば市子ども体験事業補助金 つくば市内の青少年健全育成諸団体が、子どもたちを対象に行った体験活動を内容とする事業・活動に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。</p> <p>青少年の健全育成に資する団体と連携した活動に取り組んだ事業を推進し、多くの参加者を受け入れられるよう定員の拡充等の対策をする。</p>		事業計画	<p>○青少年体験学習事業 つくば市の地域資源を活用した実験教室等を体感し、科学や自然への興味や関心を高めることを目的として開催する。</p> <p>○この指と一まれ！事業 中学生・高校生自身がやりたいこと、興味があること、実現したいことを企画募集し、企画実現に向けて活動することで、自己肯定感を育み、社会力の育成につなげる。</p> <p>○青少年の居場所事業 青少年の学校外での活動拠点として地域交流センター7館を週1回開放。学習や友人とのおしゃべり場等として活用</p> <p>○つくば市子ども体験事業補助金 つくば市内の青少年健全育成諸団体が、子どもたちを対象に行った体験活動を内容とする事業・活動に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。</p> <p>青少年の健全育成に資する団体と連携した活動に取り組んだ事業を推進し、多くの参加者を受け入れられるよう定員の拡充等の対策をする。</p>	



担当課・係	生涯学習推進課・生涯学習推進係		目的	数多くの研究所を有し、多数の研究者が研究に取り組む地域資源を生かして、子供たちの科学への関心を高める。				
事業名	科学教育推進事業		概要	市内の研究機関の研究者等を学校の授業等に派遣する「つくば科学出前レクチャー」、全国の小中学生に夏季休業期間中に市内の研究機関の概要や研究内容について現地見学や動画視聴で学ぶ「つくばちびっ子博士」、学校や研究機関等が一堂に会し科学実験等の体験を来場者に提供する「つくば科学フェスティバル」の3事業を展開する。				
			令和4年度	令和5年度				
予算額	9,747 千円		決算額	8,228 千円		予算額	10,609 千円	
事業計画	<p>① つくば科学出前レクチャー事業 学校等の希望により、事前に講師として登録した研究機関の研究者等と連絡調整し、現役研究者等を専門テーマの講師として派遣する。</p> <p>② つくばちびっ子博士事業 科学技術に触れ科学への関心を高めることを目的に、小中学生が研究機関等をクイズラリーにより巡る。</p> <p>③ つくば科学フェスティバル事業 市内の各学校や、研究機関等が科学実験等を出展し、楽しみながら科学や理科への興味・関心を高めさせる。</p>		実績	<p>① つくば科学出前レクチャー 以下の2つに取り組み、講座実施回数を増やすことができた(R3 2回→R4 7回)。 ・科学出前レクチャー登録講座と小中学校理科教科の各単元との関連性に関する資料を作成、配布した。 ・次年度の授業計画に取り入れやすくなるよう、事業広報時期を例年より早く実施した。</p> <p>② つくばちびっ子博士(7/23~9/30) 感染対策を実施した現地開催と動画配信によるクイズ形式で実施した。現地参加者数が令和3年度に比べ回復するとともに(R3 7,112人→R4 25,431人)、動画の再生回数も41,954回を達成し、堅調に事業を運営できている。 また、HP「つくばSTEAMコンパス」との連携を強化し、ちびっ子博士開催期間中に、児童生徒が見学や動画視聴で生じた疑問に各研究機関が回答する「『なぜなぜなぜ』スペシャル!」をHP内で開催することができた。</p> <p>③ つくば科学フェスティバル(11/12) 新型コロナウイルス感染症対策を実施し、イベントを開催することができた(10,495人)。さらに、児童生徒の科学への気づきを生むため、以下の取組を実施した。 ・ホームページ「つくばSTEAMコンパス」を活用し、当日の疑問を質問できる環境を新たに構築した。 ・つくば科学教育マイスターと児童生徒のコミュニケーションを生むため、特別スタンプラリーを実施した。</p>		事業計画	<p>① つくば科学出前レクチャー事業 学校等の希望により、事前に講師として登録した研究機関の研究者等と連絡調整し、現役研究者等を専門テーマの講師として派遣する事業を年間をとおして展開する。</p> <p>② つくばちびっ子博士事業 市内39機関の協力を得て、7/22~8/31を期間として「つくばちびっ子博士2023」を開催する。つくばちびっ子博士パスポートという冊子を用いた現地見学及び動画視聴をとおしたクイズラリー形式で実施する。 つくばちびっ子博士事業において、令和5年度は、小中学生の学外での学びの充実を図るため、従来の方法に加え、つくば市の児童生徒が使用する学習者用端末を使用した「つくばちびっ子デジタルチャレンジ」を開催する。</p> <p>③ つくば科学フェスティバル事業 つくば科学フェスティバルは、2年度1回の開催であるため、令和5年度の実施はない。令和6年度以降に今までよりつくば市の児童生徒がコンテンツを提供する側も参加する側も科学への興味関心を今まで以上に育てることができコンテンツ等の検討を実施する。</p>	
取組実績・目標値	ちびっ子博士パスポート提出数(デジタルスタンプラリー参加者数含む)	令和3年度	実績 2,335人	目標 4,500人	取組目標値	ちびっ子博士パスポート提出数(デジタルスタンプラリー参加者数含む)	目標 6,000人	
成果	3つの事業全体として、事業実施方法のマイナーチェンジや周知の強化、事業目的に沿った新たな企画実施に取り組み、効果をあげることができている(各事業の新たな取り組みや具体的な成果については実績欄参照)。							
課題	<p>① つくば科学出前レクチャー事業：新型コロナウイルス感染症により、開催回数が減少していたため、その回復をすること。</p> <p>② つくばちびっ子博士事業：児童生徒がクイズを答えた先に、さらに科学への興味関心を育てることができる取組を促進すること。</p> <p>③ つくば科学フェスティバル事業：新型コロナウイルス感染症下でも開催ができる対策の構築、来場した児童生徒と科学者とのコミュニケーションを促進すること。</p>							
課題への取組	3つの事業について、課題に対する具体的なアクションを起こし、成果につなげることができた(詳細な内容については実績欄参照)。							
	<p>① つくば科学出前レクチャー：(課題)実施回数を継続して増やすこと。ただし、多忙な学校現場に対し配慮をし、かつ効果的な事業周知が必要。(対応策)教員関係の行事に積極的に参加する等学校との連携の強化を図る。</p> <p>② つくばちびっ子博士：(課題)夏休みの児童生徒の自主的な活動である現状から学校の教育活動との連携を深めていく必要。(対応策)「つくばちびっ子デジタルチャレンジ」の結果のデータを学校等に提供し、学外と学内の学びをつなぐ。</p> <p>③ つくば科学フェスティバル：(課題)来場者が非常に多いため、「来場者と出展者、出展する学校と研究機関のコミュニケーションを深める」部分に工夫が必要。(対応策)令和6年度の開催に向けて実施手法等を検討する。</p>							



令和4年度社会教育事業実績報告及び令和5年度社会教育事業計画

担当課・係	生涯学習推進課 社会教育係		目的	家庭の教育力の向上を図り、子どもの健全な育成に役立てる。				
事業名	家庭教育学級支援事業		概要	家庭教育学級・家庭教育セミナーを開催する。学級の運営にあたり社会教育指導員が指導・助言を行う。現代的な課題について理解を深めるための講演会や学習会を開催する。社会教育指導員（会計年度任用職員）10人を生涯学習推進課に配属し、社会教育の特定分野についての直接指導、学習相談又は社会教育関係団体の育成等にあたる。				
			令和4年度		令和5年度			
予算額	3,320 千円		決算額	1,056 千円		予算額	4,322 千円	
事業計画	<p>社会教育指導員を配置し、家庭教育学級事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児家庭教育学級開催 市内3か所(大穂、吾妻、みどりの)</li> <li>・幼児家庭教育学級開催 市内3か所(小野川※新設、竹園、ゆかりの森)</li> </ul> <p>保育所における社会教育講座を9か所で実施する。社会教育講演会を開催し、学級の枠を越えた学習機会を設ける。企業への家庭教育学級を推進する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策をとり、講座や講演会の開催は、会場の参加人数を制限し、オンラインでの開催や動画配信を行う。</p>		実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育学級参加者数 各市立幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校</li> <li>・吉沼祖父母学級</li> <li>・大穂、吾妻、みどりの乳児家庭教育学級(春、秋、冬学級)</li> <li>・竹園、ゆかりの森、小野川幼児家庭教育学級</li> <li>・家庭教育講話(入学説明会時、就学前検診時)</li> <li>・社会教育講座 保育所</li> <li>・令和4年度第1回社会教育講演会(10/22) 「いじめ予防最前線～大人も子どもと一緒に学びましょう～」 講師：弁護士 二井矢 旬子氏</li> <li>・令和4年度第2回社会教育講演会(3/4) 「その瞬間(とき)、生き残れるか。」 講師：一般社団法人日本防災教育振興中央会代表理事 仲西 宏之氏</li> <li>・社会教育講座「子育てたの・らくセミナー@くさざき」(12/6、12/13)</li> <li>・令和4年度「家庭の日」社会教育講座 「笑っている父親になろう！～子育ては夫婦協働プロジェクト～」 講師：NPO法人ファザーリングジャパン代表 安藤 哲也氏</li> </ul>		事業計画	<p>社会教育指導員を配置し、家庭教育学級事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児家庭教育学級開催 市内3か所(大穂、吾妻、みどりの)</li> <li>・幼児家庭教育学級開催 市内3か所(小野川、竹園、ゆかりの森)</li> </ul> <p>保育所における社会教育講座を9か所で実施する。社会教育講演会を開催し、学級の枠を越えた学習機会を設ける。企業への家庭教育を推進する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策で取り入れた機材を活用し、コロナ終息後も引き続きオンライン講座や動画配信を行う。</p>	
取組実績・目標値	家庭教育学級数	令和3年度	実績 72学級	目標 72学級	取組目標値	家庭教育学級数	目標 75学級	
		令和4年度	実績 74学級	目標 74学級				
成果	小野川で幼児家庭教育学級を開催したことで、市南部の方にも参加しやすい環境で開催することができた。親子で講座を受ける形態を変えて、親は座学、子は外遊びをして過ごすように変えた。親が講座に集中することができ、子は保育ボランティアと過ごすことで、親にも外遊びの大切さを知る機会を提供できた。				課題と対応策	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、対面講座が中止となったが、「学びの機会が途切れることのないように」と動画視聴を主流とした。動画視聴は隙間時間で家庭教育情報が得られるメリットがあった一方、保護者間のつながりの希薄化から子育ての不安やストレスを共有できる仲間づくりができず子育てが孤立するデメリットが浮き彫りになった。不安やストレスを解消するため、子供を取り巻く身近な問題を語り合い、「対話とつながり」に重点を置いた家庭教育学級を開催する。具体的には、対面講座を軸に保護者同士が直接会い、話し合える場を提供していく。		
課題	動画を視聴するだけの学習では学習効果が表れにくい。							
課題への取組	動画作品数を維持しながら、動画視聴を希望する学級に対応した。動画視聴の利点もあるが、個人の感想も学級内で共有できるようにするなどして効果的に使用したい。							



担当課・係	生涯学習推進課・社会教育係		目的	市民及び市内の企業に勤務する者に生涯学習の機会を提供し、もって教育の振興及び文化の向上に寄与する。 郷土に対する理解を深める環境・憩いの環境を提供し、伝承文化の承継に寄与する。			
事業名	生涯学習施設管理		概要	利用者が快適に施設を利用できるよう、指定管理者制度を利用し、最適な施設の維持管理、施設の特性を生かした自主事業の実施など、民間活力を用いた施設運営を行う。			
令和4年度				令和5年度			
予算額	28,462 千円		決算額	29,932 千円		予算額	38,819 千円
事業計画	<p>つくば市市民研修センター(北条)の指定管理を行う。また、古民家を有するさくら民家園(中央公園)の維持管理を行う。</p> <p>市民研修センターにおいては、利用団体合同発表会、夏休み子どもイベントなど多種多様なイベントを実施する。さくら民家園においては、2～3月にかけて雛飾りを展示する。</p> <p>指定管理施設では各種講座、イベントを実施。</p>		実績	<p>市民研修センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講座の実施(前期、夏期、後期、新春、特別)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>自力整体講座、アビ先生と英語であそぼう</li> <li>初心者のパソコン講座、週末のヨガ講座、木彫り仏像創作講座、スマホ・タブレット活用講座、季節の寄せ植え講座、竹かご編む花籠講座、己書講座</li> </ul> </li> <li>講座数 31講座</li> <li>開催数 239回</li> <li>参加者数 3,679名</li> </ul> <p>イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>春のお花見イベント(中止)</li> <li>夏休み子どもイベント(おもしろ理科実験、怖い話を聞く夏のタベ)</li> </ul> <p>利用団体合同発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベント数 3回</li> <li>参加者数 163名</li> </ul> <p>さくら民家園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひな人形の展示(2月～3月上旬)</li> </ul>		事業計画	<p>・生涯学習社会の実現を寄与するため、つくば市市民研修センターの指定管理を行う。</p> <p>・郷土に対する理解、伝統文化の継承などを目的として民家園の維持管理を行う。</p> <p>市民研修センターにおいて、生涯学習に係る講座を開設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筑波山ガマの油売り口上講座</li> <li>スマホLINE(ライン)習得講座</li> <li>夏休み子どもイベント 真夏の夜のおはなし会 おもしろ理科実験</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>自力整体講座</li> <li>アビ先生と英語で学ぼう</li> <li>初心者のパソコン講座</li> <li>木彫り仏像創作講座</li> <li>土曜日のヨガ講座</li> <li>シニア健康体操講座</li> <li>スマホ活用講座</li> <li>己書講座</li> </ul> <p>さくら民家園では、ひな人形の展示を行う。</p>
取組実績・目標値	市民研修センター施設利用人数	令和3年度	実績 14,558人	目標 35,000人	取組目標値	市民研修センター施設利用人数	目標 35,000人
		令和4年度	実績 21,592人	目標 35,000人			
成果	利用者からのアンケート結果、職員対応に係る満足度が94%を越え、苦情やトラブルも無く職員と利用者との信頼関係が満足度の結果に表れている。 感染対策を徹底し、感染者を出すことなく運営することができた。						
課題	研修センターにおいては、利用者の大部分がリピーターであるため、新規利用者の獲得に努めなくてはならない。						
課題への取組	市外からの宝篋山登山利用者の方にも利用していただけるよう、駐車場や門に利用を勧める掲示などを行った。						
				課題と対応策		<p>利用者の大部分が定期的に利用している方々であり、職員と利用者との信頼関係が取れているが、利用者の大部分がリピーターのため、新規利用者の獲得に努めなければならない。</p> <p>市外からの宝篋山登山者の方にも利用していただけるよう、今後も駐車場や門(入口)に利用を勧める掲示やフェイスブック、ホームページによるPR活動を続けていく。</p> <p>講座の利用者が講座終了後も活動できるようサークル化する、また研修を開催したい利用者に対して研修室の利用について勧める等、研修室の利用促進に努める。</p>	



## 社会教育事業の視察について

生涯学習推進課

## 1 「乳児家庭教育学級」について

昨今の家族形態の多様化や地域社会とのつながりの希薄化等家庭を取り巻く環境が大きく変化し様々な問題を抱えている家庭も少なくありません。そこで、幼少期からの家庭教育を支援していくために、初めて子育てをする保護者を対象に、月齢2か月から10か月までの乳児と保護者が15組程度参加する乳児家庭教育学級を、春と秋、冬にそれぞれ全5回の講座を開催しています。開催場所は、市内北部の大穂交流センター、市内中央の並木交流センター、市内南部の市民ホールやたべの3つの会場で開催しています。その中から、大穂交流センターの様子を視察していただくことを提案します。

## 〈視察事業 大穂乳児家庭教育学級〉

- (1) 開催場所 大穂交流センター  
所在地：筑穂1丁目10番地4
- (2) 開催時間 午前10時～午前11時10分
- (3) 開催日 令和5年9月5日(火)
- (4) 内容 第1回 はじめましての会(オリエンテーション)
- (5) 集合場所 市庁舎 正面玄関前
- (6) 集合時間 午前9時20分
- (7) 報酬・費用弁償 あり
- (8) 人数 希望される委員全て可能です

## 2 青少年体験学習事業「スマホお助け隊」について

本事業は、生涯学習推進課青少年教育係が担当する青少年体験学習事業における輝け！中高生わくわく企画内の取組です。

中高生の自主的な活動を支援、促進し、自己肯定感や自己有用感を育むとともに、地域貢献やコミュニケーション力、またリーダーとしての資質を深める機会となることを目的としています。

「スマホお助け隊」は、つくば市内に在住・在学する中高生が、カスミのスマホ決済 Scan&Go の使用方法についてサポートを受けたい地域の方に対し、レクチャーを行い、実際に買い物をする企画です。

参加申込のあった中高生 10 名を対象に、8 月 8 日(火)、カスミ社員の方を講師に迎え、カスミ本社において Scan&Go のやり方及び教え方についての講習を行います。

その後、8 月 22 日(火)に、Scan&Go について学んだ中高生が、実際に BLANDE 研究学園店において参加者 (Scan&Go の使用方法についてサポートを受けたい地域の方) に対して、Scan&Go 使用方法のレクチャーを行い、買い物をするまで体験してもらいます。

<視察事業 輝け！中高生わくわく企画「スマホお助け隊」>

- (1) 開催場所 KASUMI BLANDE 研究学園店  
所在地：研究学園 3 丁目 23 番地 3
- (2) 開催時間 午後 2 時～午後 3 時 30 分
- (3) 開催日 令和 5 年(2023 年) 8 月 22 日(火)
- (4) 内容 市内中学生・高校生による「スマホお助け隊」が、スマホ決済のやり方をサポートし、実際の店舗で買い物をする。
- (5) 集合場所 市庁舎 正面玄関前
- (6) 集合時間 午後 1 時 45 分
- (7) 報酬・費用弁償 あり
- (8) 人数 3 名

※店舗営業中のため、参加人数に限りがあります。申込者多数の場合は調整させていただきます。

令和5年度

参加無料

# 乳児家庭教育学級 (秋学級)

## 対象

生後2～10か月のお子さん  
(2023年9月5日現在)  
を初めて子育てする保護者  
(つくば市内在住・在勤・在学の方)



## 育児の不安を解決しましょう

「はじめての絵本」「子どもの救命救急」「おむつ替えから始まる性教育」「赤ちゃんとのくらしを楽しもう」など、初めての育児に役立つ講座です。子育ては何かと不安がつきものですが、講座の内容を参考に子育てを楽しんでみてはいかがでしょうか。



■ 時間 10:00～11:10 (70分間)

■ 定員 各会場 15組程度

- 手話通訳を必要とする方は、申込フォームの備考欄にご入力ください。
- 応募が定員を超えた場合は抽選となります。
- 申込結果は8月25日(金)頃にメールでご連絡します。

学級	会場	曜日	開催日
大穂	大穂交流センター	火曜日	9月5日 12日 19日 26日 10月3日 ※市内関係者が視察を行う可能性がございます
並木	並木交流センター ※吾妻交流センターから変更	水曜日	9月13日 20日 27日 10月11日 18日 ※10月4日は施設の都合によりお休みになります
みどりの	市民ホールやたべ	木曜日	9月7日 14日 21日 28日 10月12日 ※9月28日に限りお子さまをお預かりしての講座になります ※10月5日は施設の都合によりお休みになります

申し込みはQRコードまたはつくば市ホームページから  
申込期間 ▶ 8月1日(火)～8月19日(土)

## お問い合わせ

つくば市教育局  
生涯学習推進課

〒305-8555  
つくば市研究学園一丁目1番地1  
☎ 029-883-1111 (内線4541)  
メール edc073@city.tsukuba.lg.jp

つくば市ホームページ

家庭教育学級



<http://www.city.tsukuba.lg.jp/>







学校ではできない  
体験をしてみよう!

# 輝け! 中高生わくわく企画

各企画  
10名程度

## つくば市の中高生のみなさん!

2つの企画からやりたいことを選んで地域の人とつながろう!  
何かイベントに関わってみたい!そんなやりたい気持ちをつくば市がサポートします。はじめの一步を踏み出そう。  
活動場所は近くの**地域交流センター**などになります。



## わくわく企画



### ① 夕涼み会をしよう!

子どもたち(未就学児)に楽しんで貰える、ゲームや遊びなどの企画・準備・運営を行います。

日時 5月29日(月)~全3回  
16:00~17:00

### ② スマホお助け隊



シニアに向けて、スマホの基本操作やお買い物のスマホ決済のやり方をレクチャーします。カスミのスキャン&ゴーの基本操作も行います。

日時 8月8日(火)~全3回  
16:00~17:00

**申込みはWEBで5月19日(金)までにご応募ください。**  
**つくば市ホームページ「青少年体験学習事業」で検索!**

※新型コロナウイルス感染症等の影響により事業を中止する場合があります。



輝け！中高生わくわく企画



# スマホで

参加費  
無料

# お買い物をしてみよう



## シニアの方 大歓迎！

つくば市の中学生・高校生による『スマホお助け隊』が、カスミのスマホ決済Scan & Goのやり方をサポートします。  
お気軽にご参加ください。

日時  
会場

## 8月22日(火) 14:00~15:30 (13:30受付)

KASUMI BLANDE研究学園店 (つくば市研究学園3丁目23-3)

対象：スマホを持っている方(定員10名程度)

申込  
方法

## 8月6日(日)までに 「いばらき電子申請・届出サービス」 より事前にエントリーしてください。



お申込はこちら！

- 申込みが定員を超えた場合は抽選となります。
- 申込者全員に結果をお知らせします。  
当選者には、あわせて詳細をお知らせします。
- 8月17日(木)までに通知がこない場合は、生涯学習推進課までご連絡ください。



「輝け!中高生わくわく企画」とはつくば市内の中学生・高校生が地域の人とつながりたい!役に立ちたい!との想いを応援する事業です。



主催・問合せ先：つくば市教育局 生涯学習推進課 青少年教育係

〒305-8555 つくば市研究学園 1-1-1 TEL 029-883-1111 (内線 4513)

共催：KASUMI



年 月 日

社会教育事業視察参加希望調査票

申込者氏名

---

No.	社会教育事業名	参加希望について (どちらかに○をつけてください)
1	乳児家庭教育学級 日時：令和5年(2023年)9月5日(火) 午前10時～午前11時10分 場所：大穂交流センター	参加 ・ 不参加
2	青少年体験学習事業「スマホお助け隊」 日時：令和5年(2023年)8月22日(火) 午後2時～午後3時30分 場所：KASUMI BLANDE研究学園店	参加 ・ 不参加

- ※1 青少年体験学習事業については、店舗営業中のため視察人数が3人に限られており、御希望に沿えないことがあります。
- ※2 両事業の参加申込みも可能です。
- ※3 提出期限 令和5年(2023年)8月9日(水)まで
- ※4 提出先及び提出方法 生涯学習推進課宛てに FAX 又はメールで提出してください。

〇つくば市社会教育委員条例

平成 2 年 3 月 27 日

条例第 8 号

改正 平成26年 3 月 25 日条例第12号 令和 4 年 7 月 1 日条例第26号

(設置)

第 1 条 社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条の規定に基づき、社会教育委員（以下「委員」という。）を置く。

(委員の定数及び委嘱の基準)

第 2 条 委員の定数は、16人とする。

2 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(平26条例12・一部改正) (令 4 条例26・一部改正)

(委員の任期)

第 3 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員が委嘱されたときの要件を欠いたときは、委員の資格を失う。

(委任)

第 4 条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。

(つくば市筑波地区社会教育委員設置条例の廃止)

2 つくば市筑波地区社会教育委員設置条例（昭和63年つくば市条例第62号）は、廃止する。

附 則（平成26年条例第12号）

この条例は、平成26年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 4 年条例12号）

この条例は、令和 4 年 7 月 1 日から施行する。

# 〇つくば市社会教育委員会会議運営規則

平成2年4月3日

教委規則第2号

改正 平成10年4月1日教委規則第9号 平成14年10月28日教委規則第15号  
平成20年3月31日教委規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、つくば市社会教育委員条例（平成2年つくば市条例第8号）第4条の規定に基づき、社会教育委員（以下「委員」という。）の会議運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 委員の会議（以下「会議」という。）には、委員の互選による議長及び副議長を置く。

(平10教委規則9・一部改正)

(議長及び副議長の任期)

第3条 議長及び副議長の任期は、委員の任期中とする。

(議長及び副議長の職務)

第4条 議長は、会議を主宰する。

2 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、その職務を代理する。

(平10教委規則9・一部改正)

(会議の招集)

第5条 会議は、必要のある場合に議長がこれを招集する。

(付議事件)

第6条 会議開催の日時及び場所は、会議に付議すべき事件とともに議長があらかじめ委員にこれを通知しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、会議招集の通知後に急施を要する事件が生じたときは、これを会議に付議することができる。

(定足数)



第7条 会議は、在籍委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。

(表決)

第8条 会議の議決は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(説明の請求等)

第9条 委員は、会議において議事に関する職員（以下「関係職員」という。）に対し、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の会議出席等)

第10条 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(平10教委規則9・一部改正)

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(つくば市筑波地区社会教育委員会議運営規則の廃止)

2 つくば市筑波地区社会教育委員会議運営規則（昭和63年つくば市教育委員会規則第5号）は、廃止する。

附 則（平成10年教委規則第9号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第15号）

この規則は、平成14年11月1日から施行する。

附 則（平成20年教委規則第6号）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

## つくば市社会教育委員名簿

任期（2年）：令和4年8月1日～令和6年7月31日

No.	社会教育委員氏名	役 職 等	区分
1	坏 文雄	市図書館協議会会長	社会教育関係者
2	飯岡 宏之	市子ども会育成連合会会長	家庭教育の向上に資する活動をする者
3	石黒 澄子	一般社団法人つくば市スポーツ協会 理事	社会教育関係者
4	石塚 一夫	市シルバークラブ連合会会長	社会教育関係者
5	稲葉 房子	元幼稚園長	学識経験者
6	上田 孝典	筑波大学准教授 人間系教育学域	学校教育関係者
7	金井 恵美	こども育成課放課後子供教室コーディネーター	家庭教育の向上に資する活動をする者
8	鈴木 もえみ	フリーアナウンサー	学識経験者
9	高田 正澄	筑波山地域ジオパーク推進協議会教育・学術部会員、認定ジオガイド	社会教育関係者
10	谷村 安子	民生児童委員 つくばで第九運営副委員長	学識経験者
11	長橋 進也	市PTA連絡協議会顧問	家庭教育の向上に資する活動をする者
12	中山 正巳	市青少年相談員連絡協議会会長	社会教育関係者
13	平野 浩之	要小学校長	学校教育関係者
14	布浦 万代	つくば市国際交流協会理事長	社会教育関係者
15	深澤 美紀代	茨城県立並木中等教育学校校長	学校教育関係者
16	皆川 幸枝	つくば市議会議員	学識経験者

(50音順・敬称略)

令和5年度第1回つくば市社会教育委員会議質問等一覧

	質問者	質問等	担当課	資料1
1	稲葉委員	<p><b>【電子図書館事業について】</b> 令和4年度から電子図書館の導入、今年度電子図書館事業の拡充とありますが、どのように進めていくのですか。</p>	中央図書館	P 1
2	谷村委員	<p><b>【つくばマラソンについて】</b> 昨年初めてボランティアで参加したのですが、とてもランナーを大切にした対応でした。新型コロナウイルス感染症対策もすばらしかったです。</p> <p>スポーツ振興課とボランティア団体との連携はどのようにしているのですか。</p>	スポーツ振興課	P 6

## 茨城県立筑波高等学校「つくばね学探求」北条界隈の魅力再発見！

### ～北条地域の大地・自然と歴史・文化を巡る～

日時：令和5年6月30日（金）12時45分～15時15分

参加者：3年生9名（アカデミックコース）、教諭1名、校長1名 計12名

認定ジオガイド：高田正澄 1名

コース：（標高：約m）

筑波高校(16m)→井上糶店(認定商品)→八坂神社(22m)→つくばワイナリー(30m)→つくば道道標(20m)→宮本家店蔵→北条ふれあい館・旧田村呉服店→大塚家店蔵→毘沙門天種子板碑(28m)→日向廃寺跡→多気太郎五輪塔→裏堀用水路(17m)→リンリンロード→筑波高校

### 大地・自然

- ・北条は筑波山の南側山麓に広がる起伏の多い地形。ぶどう畑、八坂神社、北条商店街などの台地と裏堀用水路や水田などの低地のある自然豊かな町。
- ・筑波山地域の大地は、海洋プレートの力を受けてゆっくり上昇を続けながら世界的な気候変動サイクルの影響を受けている。温暖な時期には海が広がって海底に土砂がたまり、寒冷な時期には海面が低下し、川が大地を削る。
- ・筑波山地域の平野に広がる台地をつくる地層は、約13万年前～12万年前の温暖な時期につくられた。海底に土砂などがたまり、その後、約3万年前の寒冷な時期にかけて海面が低下して、海の底にたまっていた土砂などで台地がつくられた。

### 歴史・文化

- ・弥生時代後期 北条中台遺跡・古墳群では弥生土器や埴輪などが見つかっている。
- ・平安時代後期から鎌倉時代初期 約200年間、多気(たけ)氏が支配していた。この多気氏は平将門を滅ぼした平貞盛の弟、繁盛の子孫であり、一時は常陸国(今の茨城県)の大半を領有するほどの権勢を誇っていた。6代目多気義幹は、多気太郎と名乗り、北条の町を見下ろす城山に城を構えた。源頼朝の命令により、1193年に非業の死を遂げた。
- ・江戸時代 徳川家光が、筑波山の中禅寺(現在の筑波山神社)堂社再建のための資材運搬路を整備し、後に「つくば道」と呼ばれ、北条仲町を起点に、中禅寺への参詣道として江戸方面から多くの人々が往来するようになり、北条は門前町の機能を有しつつ、多くの商人や職人が居住するようになり、街並みが形成されていった。農産物の集散地でもあったため、酒や醤油の醸造、油の製造、木綿の売買が行われ、規模の大きい商店が誕生した。
- ・明治時代 土浦から乗合馬車が、北条まで一日2往復の定期便があり、賑わった。
- ・大正時代 大正7年(1918)の筑波鉄道開通後は、筑波鉄道の中心駅となっていく。
- ・昭和後半から平成に入り、時代の波に押され寂れていく北条の町の復活を願い、平成19年に「北条街づくり振興会」が発足し、北条の街づくりの活性化に取り組んでいる。平成21年には経済産業省「新・がんばる商店街77選」に茨城県で初めて選出された。
- ・平成23年3月11日の東日本大震災、平成24年5月の巨大竜巻(死者1名)と被害にあい、街中の一部住宅が崩壊(約130棟)したが、現在では復活している。

- ・北条商店街：江戸時代に筑波山参拝の門前町として栄えた北条は歴史的な店蔵や土蔵の街並みが残されている。現在の商店が立ち並ぶ通りは、戦国時代末から江戸初期にかけて人為的に作られたと考えられている。一本の通りを町ごとに3ヶ所でカギの手に曲げ、西から「内町」「仲町」「新町」の順に屋並みができていった。定期市の跡の石の祠（ほこら）が残されている。1811年の大火の後から、防火性能を持つ土蔵造りの店蔵が生まれた。
- ・国登録文化財は、江戸末から明治にかけて造られた宮本家店蔵、旧田村呉服店（北条ふれあい館）、旧矢中邸（矢中の杜）、旧常陸北条郵便局（カフェポステン）の建造物である。
- ・大塚家店蔵は屋号を「岩崎屋」で酒の小売業を始め、その後は多岐にわたる事業を手がけた。かつて筑波山麓の米は、良質な米として、東京の市場では〇印の中に北の字の判が押されているマルキタ米と呼ばれ、名が知られていた。最盛期には店蔵の裏手に6棟の蔵が建てられていた。平成24年8月に北条のふれあい館の役割を旧田村呉服店に引き継いだ。

### センス・オブ・ワンダー 不思議発見と謎解き

八坂神社の五輪塔(茨城県指定文化財) **なぜ五つの形が違うが石が積み上げられているの？**  
 花こう岩製、高さ201cmの大きな堂々とした力強い五輪塔がある。仏教はこの世の万物は、地(ち)・水(すい)・火(か)・風(ふう)・空(くう)の五大要素からなると考え、五輪塔はそれを石で表現し、下から地・水・火・風・空を方・円・三角・半月・団形の形で表している。地輪上面の孔から見つかった経筒には1537年造立とあり、造立年がわかるものでは県内2番目に古い五輪塔。現在の墓石は戒名や俗名が刻まれているが、こうした風習は江戸時代以降から始まり、なにも刻まれていない五輪塔は江戸時代以前の古いものといえる。

つくばワイナリー **なぜぶどう栽培に適しているの？ 浅い海だった証拠はあるの？**  
 筑波山麓の山々を背景に広がる中台の台地の上にあるぶどう畑は自然と人間と関わりを感じさせ、景色はゆったりとした時間を感じさせてくれる。水はけのよい砂層の土壌と風通しの良い地形がワイン用ぶどうの栽培に適している。北条周辺が浅い海だった証拠は、海岸近くに堆積した砂の地層に波打ち際に棲んでいた生物の痕跡である白斑状生痕化石が発見されている。生痕化石は生物の巣穴、糞などが地層に残された生物の生活のあとの化石で生物の暮らしぶりや生活環境を知るのに役立つ。

2012年からぶどう栽培、2019年から醸造も始め、新たな地域産業として期待されている。

つくば道(日本の道百選) **なぜ家康はつくば道を造った？ なぜ筑波山をあがめた？**  
 筑波山は江戸城からみると北東の方角にあり、鬼門にあたる。かつて徳川家康は「鬼門の護り」として筑波山をあがめ、中禅寺（現在の筑波山神社）を祈願所に定めた。三代将軍徳川家光が筑波山堂舎の再建を進めていく時に資材運搬用に北条から神郡、臼井を通過して、現在の筑波山神社に至る約4キロメートルの道が造られた。1986年に日本の道百選に選ばれている。つくば道の始点につくば道標は立っている。高さ3mをこえる県内最大級の道標は、1716年に建立され、1798年に再建された。「これよりつくば道」「にし おうそね いちのや 江戸」「東 ひだり きよたき つちうら 加し満 (かしま)」と刻まれている。

### 毘沙門天種子板碑(つくば市指定文化財)

### 仏様と持物はどこにあるの？

日本の石造物は仏教文化から生まれ、様々な形の石塔、仏様をかたどった石仏、板石に仏様や仏様を象徴する梵字を刻んだ板碑で造られている。鎌倉時代の板碑、黒雲母片岩、高さ170cm、種子(梵字)という古代インド文字で下に毘沙門天、上部に持物の宝塔を彫っている。

### 日向廃寺跡(つくば市指定文化財)

### 平等院鳳凰堂のような寺は誰が造らせた？

東西約40m、南北10～20mの範囲に中央堂と翼廊をもつ礎石建造物跡。平安時代後期の互や土器が発見されている。京都府宇治市の平等院鳳凰堂(びょうどういんほうおうどう)のような阿弥陀堂と翼廊をもつ建築の遺跡は、当時の浄土信仰の広まりとともに、常陸平氏本流の多気氏の本拠とされる北条の雄大な歴史を示し、最後の当主多気義幹の墓とされる五輪塔と合わせて、多気氏の栄華を物語る遺跡となっている。

### 多気太郎五輪塔

### なぜここに五輪塔があるのか？

鎌倉時代初期の五輪塔。裏堀を作った多気義幹はその功績を称え「多気太郎さま」と住民から親しまれて呼ばれる。非業の最期を供養するための五輪塔が裏堀を見下ろす丘の上にある。毎年8月に住民が「タキタロ万灯」を催している。

### 裏堀・用水路

### ポンプのない時代に、水はどこから、どうやって流れているの？

北に約5km先にある桜川の東側の自然堤防から取水し、標高差をうまく利用して北条の水田へ流れている。多気義幹によって掘られたとされる裏堀は、かつては堀幅も広かった。流域300haの水田を潤し、献上米にもなった北条米、また防火用水としても地域に多大な恩恵を与えてきた。古文書によると多気氏6代義幹は、民が北条に用水がないのを嘆いていたので造ったと伝えている。しかし1193年八田知家がこの用水路を「戦の準備のための堀だ」と源頼朝に訴えたため、義幹は謀反の罪に問われ、領地没収のうえ死刑となり、多気氏は滅ぶことになった。



八坂神社五輪塔



毘沙門天種子板碑

令和6年度  
 第66回全国社会教育研究大会茨城大会  
 第55回関東甲信越静社会教育研究大会茨城大会  
 第10回関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会  
 開催概要(案)

- 1 大会スローガン 彰往考来 ～ 人をつくり 人をつなぎ 地域をつくる 未来の社会教育～
- 2 研究主題 誰一人として取り残さない社会を目指す社会教育のあり方  
～子どもたちの健全な成長を支える～
- 3 主催 一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会  
茨城県社会教育委員連絡協議会、茨城県教育委員会
- 4 主管 第66回全国社会教育研究大会第55回関東甲信越静社会教育研究大会茨城大会  
第10回関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会実行委員会
- 5 日時 令和6年10月23日(水)～25日(金)
- 6 会場 水戸市民会館(全体会、分科会) みと文化交流プラザ(分科会)
- 7 参加対象者 都道府県・政令指定都市・区市町村社会教育委員・社会教育担当職員  
社会教育関係者、生涯学習・社会教育に関係のある方等 約1,000人
- 8 参加費 4,000円 (資料代として)

9 日程

第1日 (10/23)	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00			
													社教連 理事会		都道府県・政令市 社教連等事務局 担当者会議					
第2日 (10/24)	9:00		10:00		11:00		12:30		13:00		14:00		15:00		15:20		16:50		17:00	
			社教連 総会		受付 分科会 打合せ		ア ト ラ ク シ ョ ン		開 会 行 事		記 念 講 演		シ ン ポ ジ ウ ム		閉 会 行 事					
第3日 (10/25)	9:00		9:30		9:40		10:30		10:50		11:40		12:00							
	受 付	開 会 接 拶	分科会				閉 会 接 拶													
発表 I			発表 II																	

## 10 大会内容

### (1) 第2日(10/24(木))

**歓迎アトラクション** 12:30～12:50 「偕楽園記」暗唱  
水戸市立五軒小学校5年生児童

**全体会**:開会行事(表彰式を含) 13:00～13:50

**記念講演** 14:00～15:00

講師候補者:国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(略称:JAXA)  
宇宙飛行士または職員

**シンポジウム** 15:20～16:50

テーマ『誰一人として取り残さない社会を目指す地域社会の取り組み』

コーディネーター 大学教授等

シンポジスト 地域活動実践者、社会福祉実践者、教育関係者 等

情報交換会(検討中)

### (2) 第3日(10/25(金))

**分科会** あいさつ 9:20 発表Ⅰ 9:30～10:30 発表Ⅱ 10:40～11:40  
5分科会、各2団体発表(茨城県5、関プロ都県3・政令市1、公募1)

① 第一分科会 テーマ『地域と学校の連携・協働』

例) 地域学校協働活動(含コミュニティスクール)の推進  
部活動の地域移行への取り組み

② 第二分科会 テーマ『若者の主体的活動の促進と地域の担い手の育成』

例) 中高生等が企画・運営する児童・生徒の体験活動  
地域の活性化を目指す若者の活動

③ 第三分科会 テーマ『家庭教育支援の充実』

例) 家庭教育支援員の養成と訪問型家庭教育  
社会教育関係団体と連携した家庭教育相談体制

④ 第四分科会 テーマ『地域コミュニティの活性化を目指して』

例) 子どもから大人まで全ての住民が連携・協調する地域活動  
中高生が主役となり地域住民と協働する地域づくり

⑤ 第五分科会 テーマ『誰も排除しない社会を目指して』

例) 多文化共生の地域づくり  
障がい者の生涯学習を支援する取り組み